

平成25年度

事業報告書

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

《目 次》

□ 平成25年度 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 事業報告…………… 1 ～ 60

【一般会計】

経理区分名	事業報告 (ページ)
1. 法人運営事業	2
2. 住民会費等事業	16
3. ボランティア活動推進事業	17
4. 小地域ネットワーク活動推進事業	20
5. 助成事業	24
6. 献血推進事業	27
7. 福祉サービス利用援助事業	28
8. 精神保健福祉推進事業	30
9. 生活福祉資金貸付事業	34
10. 住宅改造助成調査事業	35
11. 住宅支援給付事業	35
12. 共同募金配分金事業	36
13. 居宅介護等事業	36
14. 移動支援事業	38
15. 総合福祉センター管理運営事業	40
16. くすの木園 (生活介護) 管理運営事業	42
17. 共同生活援助・介護事業	44
18. 障害者活動支援事業	45
19. 父子家庭日常生活支援員派遣事業	45
20. 地域包括支援センター事業 (第1圏域・第2圏域)	46
21. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	50
22. 地域活動支援センター事業	52
23. 乳児家庭全戸訪問事業	54

【特別会計】

経理区分名	事業報告 (ページ)
24. 総合福祉会館管理運営事業	55

平成 25 年度 社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 事業報告

少子高齢社会、産業の空洞化による深刻な経済不況などにより、生活上の支援を要する人々は一層厳しい状況におかれ、また青少年や中年層においても生活不安とストレスが増大し、自殺や家庭内暴力、虐待、ひきこもりなどの個別多様な福祉課題が混在しています。

こうした社会状況の中、枚方市社会福祉協議会は、「第4次地域福祉活動計画」や「経営戦略プログラム(第2期)」に基づき、組織の基盤整備や社協らしさを発揮するための体制強化を図り、地域で誰もがその人らしく安心して充実した生活が送れるような地域社会をめざした地域福祉の推進に取り組みました。

平成25年度は次のような活動を重点として行いました。

組織の基盤整備では、事務局体制の強化として、地域福祉課を2グループ制(「地域福祉推進グループ」と「生活支援グループ」)としました。それぞれにグループ長を配置し、より一層、業務の推進・管理体制を強化しました。

地域福祉推進グループでは、地域の生活福祉課題の相談支援を行う生活相談職員(CSW:コミュニティソーシャルワーカー)と、地域福祉活動を支援する校区担当職員(CW:コミュニティワーカー)の配置を4人から8人体制(主担副担制・他業務との兼務)としたことで、要援護者と地域との関係が把握しやすく、個別支援と地域支援の両面から支援を行うことができました。また、CSWについては、「必要な人に、必要な時に、必要な支援」を行うために、地域で身近に相談できる場として「出張相談会」を6カ所から9カ所に増やし、相談体制の強化を図りました。

生活支援グループでは、相談支援業務(福祉サービス利用援助事業、生活福祉資金貸付事業など)を統合し、事業間の連携・効率化を図りました。

基金の有用活用として、平成25年度より、市内の非営利福祉関連団体が取り組む自主的かつ先駆的な活動を支援するための「公募事業助成基金(市民ふくし活動チャレンジ基金)助成事業」を創設し、助成選考委員会において、福祉分野における地域課題の解決に資する継続性のある事業を展開する3つの団体に助成を決定しました。

会員の増強については、組織会員会費において、「福祉事業を経営するもの」「福祉事業を行うもの」の区分をなくして2,000円に統一し、平成26年度より施行するとともに、加入促進のリーフレットの作成や組織会員研修会の開催、社協だよりへの広告掲載の優遇などをPRし、増強に努めました。

権利擁護に関しては、法人後見事業の立ち上げに向けて、先駆的な取り組みを行っている社協への視察や職員で構成する「成年後見作業チーム」、部会・理事会等での検討を行い、大阪家庭裁判所との情報交換をとおして、社協が後見人候補となり得る組織や研修体制等についての検討・協議を精力的に行いました。

災害に備えた取り組みとして「災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション」では、大阪府社協や北河内の各社協、NPO団体、枚方市等の参加のもと、災害対応への意識の向上や情報交換はもとより、市域を越えた災害時の連携のあり方や方法等についても重点的に検討を行いました。また、災害ボランティアセンターの運営等を中心に支援を行う「運営支援者」の育成も計画的に行っています。

居宅介護等事業については、介護等職員の研修やスキルの強化を図り、利用者へのサービスの向上に努めました。また、介護技術や障害者支援のノウハウを介護講習や研修会を通して、介護関係者や市民に提供しました。

1. 法人運営事業

法人運営事業においては、法人運営の要となる理事会、評議員会の運営をはじめ、専門部会（法人経営部会・地域福祉活動部会・在宅福祉サービス部会）を開催し、積極的に法人経営基盤の充実を図るとともに、地域支援体制や総合相談機能の強化に取り組んだ。

(1) 理事会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/21	ラポールひらかた 研修室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・法人経営部会の報告について ・障害者自立支援法に基づく枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の一部改正について ・自立支援法に基づく社会福祉法人枚方市社会福祉協議会在宅福祉課（居宅介護・重度訪問介護）運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づくくれいんぼう（共同生活介護・共同生活援助）運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく指定特定相談支援事業所運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく地域支援センターゆい（相談支援）運営規程の全部改正について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・評議員委嘱の同意について（残任期間） ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員委嘱の同意について（任期満了） ・基金・積立金の運用方針について ・経営戦略プログラム（第2期）の平成24年度進捗状況と評価について 	15人
7/7	ラポールひらかた 研修室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長の選任、及び常務理事、会長職務代理者の指名について ・評議員委嘱の同意について ・経営戦略プログラム（第2期）の平成24年度の進捗状況と評価、及び平成25年度の目標について 	15人
9/13	ラポールひらかた 研修室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会（法人経営部会・地域福祉活動部会と在宅福祉サービス部会合同会議）の報告について ・枚方市社会福祉協議会機構改革について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会定款細則の制定について ・枚方市社会福祉協議会会長の専決事項細則の廃止について ・枚方市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会部会規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会セクシャルハラスメントの防止に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会におけるコンピュータ情報システム運用管理に関する一部改正について ・基金・積立金について ・平成25年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第1回）及び特別会計収入支出補正予算（第1回）について 	14人

		<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会会費について ・福祉活動PRキャラクター（ゆるキャラ）の公募について ・組織会員の退会について ・第4次地域福祉活動計画の進捗状況について 	
12/6	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会会員規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の全部改正について ・枚方市社会福祉協議会再雇用職員の給与等に関する規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会ホームヘルパー就業規則の一部改正について ・平成 25 年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第 2 回）について ・「ひらかた生き生きマイレージ（仮称）」事業の受託について ・組織会員の入会について ・枚方市社会福祉協議会職員採用試験について ・枚方市社会福祉協議会正職員の給与削減について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成（市民ふくし活動チャレンジ基金）事業の選考結果について ・基金・積立金について 	15人
3/17	ラポールひらかた 研修室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動部会と在宅福祉サービス部会合同会議の報告について ・枚方市社会福祉協議会定款細則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会公印管理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会新会計基準移行に伴う承認事項について ・平成 25 年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第 3 回）について ・平成 26 年度歳末たすけあい募金配分計画について ・平成 26 年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・組織会員の入会について ・枚方市社会福祉協議会法人後見事業について ・枚方市社会福祉協議会キャラクターのデザイン公募について ・枚方市社会福祉協議会第 5 次地域福祉活動計画について ・経営戦略プログラム（第 2 期）の進捗状況について ・基金、積立金の状況について 	14人

(2) 部会開催状況

①法人経営部会

月 日	場 所	内 容	出席数
5/13	ラポールひらかた 特別会議室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・公募事業助成（市民ふくし活動チャレンジ基金）の募集および助成選考委員会の委員候補者について ・基金・積立金の運用方針について ・経営戦略プログラム（第2期）評価委員による平成24年度の評価とアンケート調査の中間報告について 	5人
8/28	ラポールひらかた 特別会議室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会機構改革（平成25年10月実施）について ・社会福祉協議会会員制度について ・福祉活動PRキャラクター（ゆるキャラ）の公募について ・権利擁護事業の取り組みについて 	5人

②地域福祉活動部会・在宅福祉サービス部会合同会議

月 日	場 所	内 容	出席数
9/9	ラポールひらかた 特別会議室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護事業の取り組みについて ・地域貢献委員会の取り組みについて ・第4次地域福祉活動計画（円卓会議）報告について 	10人
3/5	ラポールひらかた 特別会議室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護の取り組みについて ・第5次地域福祉活動計画について 	11人

(3) 評議員会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/31	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法に基づく枚方市立くすの木園（生活介護）運営規程の一部改正について ・自立支援法に基づく社会福祉法人枚方市社会福祉協議会在宅福祉課（居宅介護・重度訪問介護）運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づくれいんぼう（共同生活介護・共同生活援助）運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく指定特定相談支援事業所運営規程の一部改正について ・障害者自立支援法に基づく地域支援センターゆい（相談支援）運営規程の全部改正について ・平成24年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算認定について ・理事・監事の選任について 	35人
9/20	ラポールひらかた 研修室 1	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市社会福祉協議会機構改革について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会定款細則の制定について ・枚方市社会福祉協議会会長の専決事項細則の廃止について ・枚方市社会福祉協議会決裁規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会部会規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会セクシャルハラスメントの防止に関する規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会におけるコンピュータ情報システム運用管理に関する規程の一部改正について ・平成25年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正 	38人

		予算（第1回）及び特別会計収入支出補正予算（第1回）について ・基金・積立金について	
12/20	ラポールひらかた大研修室	・枚方市社会福祉協議会会員規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の全部改正について ・枚方市社会福祉協議会再雇用職員の給与等に関する規程の制定について ・枚方市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会ホームヘルパー就業規則の一部改正について ・平成25年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第2回）について ・「ひらかた生き生きマイレージ（仮称）」事業の受託について ・基金・積立金について	39人
3/28	ラポールひらかた研修室1	・枚方市社会福祉協議会定款細則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会公印管理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・平成25年度枚方市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第3回）について ・平成26年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・基金・積立金について	35人

（4）枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第2期）の推進

経営戦略プログラム（第2期）では、法人経営基盤の強化と市民から信頼される組織づくりとして、社協の事業・財務・組織強化を図るために達成すべき7つの目標を定め、福祉や経営に精通する外部有識者（3人）で構成する「経営戦略プログラム（第2期）評価委員会」で、第三者の視点から進捗状況等の評価を受けた。

平成25年度に取り組んだ内容は、事務局体制の強化を図るために「機構改革」を実施。併せて、一層の地域福祉活動を推進していくために、地域担当職員（コミュニティワーカー）と生活相談職員（コミュニティソーシャルワーカー）を4人から8人（主担副担制）へ強化を図った。

また、基金の有効活用として、公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）事業に取り組み、助成選考委員会において3団体への助成を決定した。

【3団体＝「NPO法人すがはらひがし」「マジシャンクラブM」「みんなでつくる学校とれぶりんか」】

○評価委員会会議の開催

月日	場所	内 容	出席数
7/1	ラポールひらかた特別会議室2	・経営戦略プログラム（第2期） ・平成24年度の進捗状況と評価について ・平成25年度の目標について ・アンケート調査について	10人

		・公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）事業の報告	
1/20	ラポールひらかた特別会議室1	・経営戦略プログラム（第2期）の進捗状況について ・権利擁護に関する取り組みの強化について ・ひらかた生き生きマイレージ（仮称）事業について ・公募事業助成（市民ふくし活動チャレンジ基金）事業について	9人
3/27	ラポールひらかた特別会議室1	・経営戦略プログラム（第2期）の平成25年度の取り組み内容と事業精査について ・経営戦略プログラム（第2期）の平成26年度の目標について	10人

（5）第4次地域福祉活動計画

①ふくしのまちづくり円卓会議

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざし、枚方市の地域福祉をより一層推進するため、平成22年5月に策定した「第4次地域福祉活動計画」（計画期間：平成22年度～平成26年度）の進行管理を目的として、「ふくしのまちづくり円卓会議」を開催し、計画の推進状況の報告、進捗状況の評価、計画推進に向けての課題の整理及び検討を行った。

○円卓会議の開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
8/29	ラポールひらかた集会室	1. 第5回 円卓会議報告 2. 第4次地域福祉活動計画の進捗状況（中間報告） ・計画項目に関する地域と社会福祉協議会の取り組み ・CSWの相談支援ケースの事例報告 ・資料提供「地域包括支援センターのこれから」	13人
3/26	ラポールひらかた研修室1	1. 第6回 円卓会議報告 2. 第4次地域福祉活動計画の進捗状況について（報告） 計画項目に関する地域と社会福祉協議会の取り組み 3. 社協経営戦略プログラム（第2期）の取り組みについて（報告） 4. 災害支援ボランティアセンターについて DVD視聴「豪雨災害の被災者支援」 5. 第5次地域福祉活動計画の策定について	13人

（6）広報活動

①社協だよりの発行

号	発行日	印刷部数	号	発行日	印刷部数
120	6/1	182, 437	121	9/1	182, 493
122	12/1	182, 618	123	3/1	182, 919

※年4回発行、「広報ひらかた」と同時に、市内全戸配布

②社協紹介リーフレットの作成

社協の役割と実施事業を、より市民にわかりやすく広報するために、リニューアルしたリーフレットを1,500部作成した。リーフレットは、関係各団体や住民会員募集時の自治会長、視察対応時等で配布した。

③社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報発信を積極的に行いアクセス件数も昨年度より増加した。

【アクセス件数 28,738（H25.4.1～H26.3.31）】

(7) 第34回枚方ふれあいフェスティバル

『ひろめよう交流の輪』をテーマに“障害のある人・ない人が共に手を取りあい、楽しく過ごしてもらえる”そんなふれあいの場になるように、枚方ふれあいフェスティバル実行委員会との共催で開催した。

(日 時) 平成25年6月2日(日) 午前10時～午後4時

(場 所) 枚方市民会館大ホール・岡東中央公園一帯

(参加者) 約4,000人

(主 催) 枚方ふれあいフェスティバル実行委員会、枚方市社会福祉協議会

(後 援) 枚方市、枚方市教育委員会、北大阪商工会議所、枚方フェスティバル協議会

(内 容) *映画会(市民会館大ホール)

題 名「長ぐつをはいたネコ」

上映時間 10時30分～12時、12時30分～14時

*特設ステージ

和太鼓、ダンス、ライブ、二胡演奏、手話コーラス、その他

*人形劇、ふれあいクッキー教室(市民会館)

*野外テント等での催し

各団体の活動紹介、相談コーナー、模擬店、その他

*企画コーナー

子ども広場、造形教室(紙すき・木工)、腎バンク・アイバンクキャンペーン 他

(8) 第25回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル

健康・福祉推進都市宣言の趣旨を踏まえ、『みんなが主役 健康医療都市ひらかた』をテーマに、市民の健康・医療と福祉に対する意識の高揚を図ることを目的に、「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催。本会も主催者として参画した。

(日 時) 平成25年10月27日(日) 午前10時～午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた、関西医科大学

(主 催) 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル実行委員会

(枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、大阪府枚方保健所、枚方市、枚方市社会福祉協議会)

(後 援) 枚方市教育委員会

(参加者) 3,160人

(内 容) *体験型講座「からだのゆがみチェックとウォーキング」

*講演会「お年寄りがかかりやすい病気」

*ノルディックウォーキング体験

*歯の検診コーナー、フッ素体験コーナー、8020達成者表彰

*からだと自然の恵み(薬草の展示と健康茶の試飲等)

*模擬店(福祉団体・福祉事業所・福祉施設が出店)

*ボランティア相談コーナー *人形劇(やなぎ劇団)

*健康医療相談・各種検診・診断・測定など

(9) 第3回 ひらかた社協ふくしフェスティバル

本会が実施する各種事業の紹介やボランティア活動、福祉団体の活動を広く市民に発信するとともに、様々な福祉活動支援団体・当事者団体等の連携を図ることを目的に実施した。

(日 時) 平成25年11月16日(土) 午前10時～午後3時30分

(場 所) ラポールひらかた

(後 援) 枚方市

(参加者) 約4,000人

(内 容) *映画会「シュガー・ラッシュ」 *ミニステージ&ミニコンサート

*ふくし講演

「心を育てる絵本について」～本の選び方・読み聞かせ方～

講師 NPO 法人『絵本で子育て』センター 理事長 森 ゆり子 氏
 *模擬店 *枚方社協、ボランティアグループ、各種団体の活動紹介 等

(10) 組織会員研修 「地域の絆、みんなの笑顔♪」

組織の活性化の秘訣や地域との連携強化の仕掛けづくりなどを学び、人と人のつながりや支え合いの活動を広めていくために実施した。

(日 時) 平成26年3月10日 (月) 午後2時～午後4時

(場 所) ラポールひらかた 4階 大研修室

(講 師) こころ元気研究所 所長 鎌田 敏 氏

(参加者) 組織会員・福祉施設から81人

(11) 善意銀行事業

①善意銀行金銭口座収支計算書

(単位：円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	5,161,217	指 定 預 託 福祉施設団体等	30,000
一般預託	0		
指定預託	30,000		
預金利息	838		
計	5,192,055	計	30,000

収入・支出残金 5,162,055円 は、次年度へ繰り越し。

②善意銀行物品口座預託品目

ラーメン	600食	車いす	3台
タオル	400枚	ティッシュペーパー	110箱
石鹸	360個	その他 食品・備品等	
トイレットペーパー	96個		

※すべての物品について、高齢者施設・障害者施設等に配分した。

③善意の橋渡し物品

七宝焼き材料等	1件	紙おむつ	4件
木目込み人形材料	1件	布団一式	5件
ひな人形・五月人形	1件	ベッド	1件

(12) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

地域において、身近な地域福祉の担い手としての民生委員・児童委員の円滑な活動を支えることを目的に枚方市民生委員児童委員協議会の各種事業の運営支援を行った。平成25年度は、要援護者の把握、見守り、相談支援活動をより一層推進するために、各地区委員会及び部会・連絡会活動において、民生委員・児童委員活動とコミュニティソーシャルワーカーや包括支援センター、各相談支援センター、市関係機関や関係団体との連携をテーマとした研修を積極的に実施し、関係機関等との連携を図った。

実 施 日	事 業 内 容
4月 3日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状伝達式
11日	新任民生委員児童委員研修会(枚方市)
24日	役員会、校区委員長会
22～27日	会計監査 地区委員会

実施日	事業内容
5月 9日	役員会、校区委員長会
9日	「民生委員・児童委員の日」啓発活動 枚方市駅前、樟葉駅前、JR長尾駅前において市民啓発用資材 救急絆創膏(3,500個)を配布
14日	子育てサロン「ゆりかご」(菅原・菅原東・長尾) 12組参加
15日	第64回大阪府民生委員児童委員大会
23日	大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会
28日	大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会
23～28日	地区委員会
6月 11日	子育てサロンゆりかご(山田・山田東・交北) 13組参加
12日	役員会
13～14日	役員・地区リーダー管外研修会(国立療養所邑久光明園:岡山県) 校区委員長会
22～28日	地区委員会
7月 1日	河北ブロック主任児童委員連絡会
2日	社会を明るくする運動街頭キャンペーンに参加協力
9日	子育てサロンゆりかご(桜丘・桜丘北・川越) 10組参加
12日	役員会、校区委員長会
20～26日	地区委員会
8月 2日	時事研修会(府社会福祉協議会)
20日	夏休み児童映画大会 「マダガスカル3」(2回上映 入場者数 1,329人)
9月 10日	子育てサロンゆりかご(高陵・磯島・殿一・小倉) 10組参加
12日	役員会・校区委員長会
19日	中堅民生委員児童委員研修(府社会福祉協議会)
25日	秋田市民生委員児童委員協議会視察で来枚
24～30日	地区委員会
10月 8日	子育てサロンゆりかご(西長尾・田口山・藤阪) 4組参加
9日	役員会、校区委員長会
10～11日	全国民生委員大会(千葉県)
19～26日	地区委員会
11月 12日	子育てサロンゆりかご(枚方・伊加賀・枚二) 14組参加
14日	役員会・校区委員長会
15日	全国社会福祉協議会大会
16日	オレンジリボンキャンペーン(社協ふくしフェスティバルにおいて、 来場者に児童虐待防止啓発資材を配布)
18日	河北ブロック主任児童委員連絡会
28日	大阪府社会福祉大会
21～28日	地区委員会
12月 3日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状伝達式
4日	障害者週間啓発キャンペーンに参加協力
6日	新任民生委員児童委員研修会(枚方市主催) 退任民生委員児童委員感謝状贈呈式
10日	子育てサロンゆりかご(香里・五常) 10組参加
12日	役員会、校区委員長会
16～26日	地区委員会
1月 9日	役員新年懇親会
14日	大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会
15日	大阪府新任民生委員・児童委員、主任児童委員研修会
16日	民生委員・児童委員、主任児童委員研修(枚方市)

17日	民生委員・児童委員、主任児童委員研修（枚方市）
21日	大阪府民児協連河北ブロック連絡会総会
2月 4日	子育てサロンゆりかご（牧野・西牧野） 9組参加
13日	役員会、校区委員長会、部会予算ヒアリング
14日	地区委員長管外研修（宇治市民児協）
17日	河北ブロック主任児童委員連絡会
21日	市主催機関紙コンクール表彰式（サークル・同好会部門 最優秀賞受賞）
25日	「福祉と共生のまちづくりフォーラム」（府社会福祉協議会）
17～28日	地区委員会
3月 7日	相談技法研修会（府社会福祉協議会）
13日	役員会、校区委員長会
17日	子育てサロンゆりかご（明倫・中宮北・中宮） 13組参加
25日	総会、研修会（大阪歯科大学楠葉学舎講堂） 「生活保護制度について」 枚方市福祉部 生活福祉室

①部会・主任児童委員連絡会活動状況（役員会・幹事会等は除く）

ア) 高齢者福祉部会

- 4月 2日 研修会「振り込め詐欺の防止と対策について」
大阪府警枚方警察署生活安全課
- 5月 7日 研修会「高齢者の『もしも』に備えて」社会福祉協議会 地域福祉課
- 6月 4日 管外研修会 特別養護老人ホーム「あやめの里」（滋賀県野洲市）
- 7月 2日 研修会「防災に関すること」枚方市市民安全部 危機管理室
- 9月 3日 全体研修会「認知症と在宅介護について」
北大阪医療生協本町診療所院長 山本秀樹 氏
- 10月 1日 ひとり暮らし老人会連絡会との交流会（参加者 102人）
- 11月 5日 管内研修会「特別養護老人ホーム サール・ナート」
- 3月 4日 高齢者の健康管理と生活の特性について 枚方市立保健センター

イ) 広報部会

- 4月 1日 「民児協ひらかた」第121号発行（編集会議8回開催）
- 8月 1日 「民児協ひらかた」第122号発行（編集会議8回開催）
- 9月30日 管外研修会「城陽市民児協広報部会との交流」
- 12月 1日 「民児協ひらかた」第123号発行（編集会議8回開催）
- 1月10日 大阪府民児協連機関紙研修会（1/17・1/22）
- 2月25日 研修会「機関紙編集の基本」枚方市政策企画部広報課

ウ) 生活福祉部会

- 4月 5日 研修会「多重債務に陥らないために」「陥ったら」近畿財務局
- 5月 2日 研修会「サプリメントについて」枚方市消費生活センター
- 6月 7日 全体研修会「生活保護制度について」枚方市福祉部生活福祉室
- 7月 5日 ブロック別事例検討
- 9月 6日 管外研修会「大阪女性自立支援センター」
- 10月 4日 ブロック別事例検討会
- 11月 1日 課題別事例検討発表会
- 3月 7日 研修会「振り込め詐欺の防止と対策について」大阪府警枚方警察署生活安全課

エ) 児童福祉部会

- 「育児教室」（通年）、「ひよこ（未熟児）教室」（年2回 各4日）に参加協力
- 4月 3日 勉強会「事例研究」
- 5月 1日 管外研修「神戸市総合児童センター（こべっこランド）」
- 6月 5日 勉強会「ひよこ教室（未熟児）について」枚方市健康部保健センター
- 8月20日 「夏休み児童映画大会」において児童との交流活動（動物鳴き声クイズ）

- 9月 9日 研修会（主任児童委員連絡会と合同研修）
「心をつなぐ傾聴力」 教育コンサルタント 菓子田圭子 氏
みんなげんきジム 山田 美紀子 氏 他2人
- 10月 2日 全体研修会「うたって、踊って、あそぼう」
- 2月 5日 研修会「ひよこ（未熟児）教室について」 枚方市健康部保健センター
「育児教室について」 枚方市立保育所所長

オ) 障がい者福祉部会

- 4月19日 管外研修会「バリアフリー2013」（大阪市住之江区）
- 5月10日 管外研修会 障害者支援施設「むれやま荘」（滋賀県草津市）
- 7月 4日 全体研修会「障害者理解とその支援について」
滋賀大学名誉教授 藤本文朗 氏
- 9月 5日 管内研修会「府立精神医療センター」
- 10月 3日 交流研修会「門真市民児協障がい者福祉部会との交流」（門真市）
- 10月26日 「くすの木まつりに参加・協力」
- 11月 7日 「レット症候群について」
（特活）レット症候群支援機構代表理事 谷岡哲次 氏
- 12月 4日 障害者週間啓発イベントに参加
- 2月 6日 研修「障害の種別について」 社会福祉協議会地域福祉課
- 3月 6日 管内研修会「わらしべ園」

カ) 主任児童委員連絡会

- 4月 子育てマップ「本体」発行（編集は、前年度1月～3月）
- 5月・10月 子育てマップ「地域情報紙」編集・発行
- 5月 7日 研修会
「児童虐待回復支援に向けて（DVD視聴）」 「こども家庭センターの業務」
大阪府中央子ども家庭センター
- 6月10日 管外研修「和歌山市子ども総合支援センター」
- 6月17日 大阪府民児協連主任児童委員連絡会議代表者会議
- 6月19日 北ブロック研修「適応指導教室 ルポ」見学
- 6月27日 南ブロック研修「府立交野支援学校」見学
- 7月 1日 第1回河北ブロック主任児童委員連絡会
「発達障がいの理解と支援 ～実践から学ぶ」
枚方市立小学校「心の教室」 相談員 近藤善枝 氏
- 8月 9日 中央ブロック研修「府立交野支援学校四條畷校」見学
- 8月27日 東ブロック研修「大阪水上隣保館 遙学園」見学
- 9月 9日 研修会（児童福祉部会と合同研修）
「心をつなぐ傾聴力」 教育コンサルタント 菓子田圭子 氏
- 11月16日 社協ふくしフェスティバルに参加・協力（オレンジリボンキャンペーン・保育支援）
- 11月18日 第2回河北ブロック主任児童委員連絡会
「グループ討議」テーマ：①不登校 ②虐待 ③発達障害
- 12月18日 大阪府民児協連主任児童委員連絡会議代表者会議
- 2月17日 第3回河北ブロック主任児童委員連絡会
「社会福祉法人大阪水上隣保館における要保護児童への支援の現状について」
大阪水上隣保館 遙学園 園長 村井 徹 氏
ファミリーポートひらかたセンター長 山下裕美 氏

(13) 枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。社員増強運動をはじめ、フィリピン台風救援金の募金に取り組んだ。また、健康生活支援員養成講習の開催や災害時を想定した炊き出し訓練を実施することにより、広く市民に

赤十字活動を啓発すると共に、赤十字運動の推進を図ることができた。

① 奉仕団活動状況

・役員会 5/17、9/6、10/16、2/27

月 日	場 所	内 容	出席数
4/1~ 3/31	市内全域	社員制度を基本とする赤十字の精神の周知を図るため社資募集(募金)を実施。 戸別募金 13,556,313 円 個人募金 3,329,890 円 利 息 291 円 合 計 16,886,494 円	374 分団
5/20	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・平成24年度事業報告及び平成24年度決算報告 ・平成24年度監査報告 ・役員改選 ・平成25年度社資募集について ・平成25年度地域赤十字奉仕団ボランティア基礎研修について ・赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会について	29人
9/17~ 10/22	ラポールひらかた 研修室1	一般市民を対象に日常生活における介護の方法や家庭内における看護について赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会を実施。また、全課程(6日間)を修了した人のうち、7人が家庭看護部会に入会した。	延べ 135人
10/30	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・平成25年度社資募集の中間報告について ・地域活動助成金(社資募集実績額)について ・平成25年度北河内ブロック赤十字奉仕団連絡協議会助成金について ・枚方市赤十字奉仕団大会について ・連合分団長管外研修について ・婦人部会炊き出し訓練の報告について	29人
11/16 ~12/27	市役所本館 別館受付他 全30ヶ所	11月8日に台風30号がフィリピン中部を直撃し、甚大な被害が発生したことに対し、現地の救援・復興事業を支援するため、枚方市の協力を得て募金を行った。	募金総額 204,385 円
11/28	メセナひらかた 大会議室	枚方市赤十字奉仕団大会 市長感謝状及び社長感謝状、金・銀色有功章などを含む、22人が日赤枚方地区長から表彰状を授与された。 DVD「東日本大震災から1年」を上映後、講演。 テーマは「日本赤十字社の災害救護活動について」 講師:日赤大阪府支部事業課救護係長 木村弘之 氏	63人
1/31	堺泉北港2区 基幹的広域防災拠点 稲むらの火の館	管外研修 東南海・南海地震等の大規模災害の発災時に、救援物資の中継基地や被災地支援隊のベースキャンプ等重要な機能を担う基幹的広域防災拠点の諸施設を見学すると共に、濱口梧陵の防災精神や人命尊重の精神に触れ、災害時に大切な生命や暮らしを守ることを学んだ	17人

3/3	ラポールひらかた 研修室1	連合分団長会議 ・平成26年度事業計画(案)・予算(案)について ・平成26年度社資募集にむけて ・地域活動助成金について ・枚方市赤十字奉仕団大会の報告について ・フィリピン台風救援金について ・事業活動報告	33人
-----	------------------	---	-----

②部会活動状況(役員会・定例会等は除く)

ア) 婦人部会

月 日	場 所	内 容	出席数
5/22	ラポールひらかた 研修室2	・平成25年度婦人部長紹介 ・平成24年度事業報告・決算報告について ・役員改選 ・平成25年度事業計画・予算について ・管外研修について	21人
7/11	大阪市下水道科学館 実験集合住宅 NEXT21	管外研修会 高度処理水と現代の汚水処理をはじめ、衛生的な 都市環境の維持、次世代エネルギーシステムの実証 集合住宅を見学し、都市環境について学んだ	35人
9/14 9/28 10/12 10/26	枚方市民会館 調理室 メセナひらかた	婦人部会研修会 枚方市地域防災推進員研修会にあわせて、災害時 の炊き出し訓練を4回実施。	延べ 78人
2/21	枚方市駅前 献血ルーム周辺	献血事業 冬場は、輸血用血液が不足するため、献血街頭キャ ンペーンを実施。 (結果) 200ml 2人・400ml 24人 成分献血 18人 合計 44人	17人
2/21	ラポールひらかた 研修室2	・炊き出し訓練の報告について ・平成26年度事業計画・予算(案)について ・管外研修について	19人
3/11	東大阪市消防局 防災学習センター	管外研修 東大阪市における地域防災システムについて説明 を受けた後、防災体験ゾーンの二次災害防止体験や 被災地体験、119番通報体験等により災害時の行 動について学習、体験、再確認を行った。	25人

イ) 家庭看護部会

月 日	場 所	事 業 内 容	出席数
5/21	ラポールひらかた 和室	勉強会 ・包帯法の練習…三角巾使用 ・ロコモーション体操(健康タオル体操)	27人
6/4	枚方市駅周辺	平成25年度赤十字社員増強運動に伴う、社資募集 の街頭募金及び啓発活動を行う。 (募金総額) 17,609円	27人
7/2	ラポールひらかた 集会室	勉強会 ・ストッキングを使っての応急手当 ・ハンカチを使っての応急手当 ・ロコモーション体操	22人

8/6	ラポールひらかた 集会室	防災講演会 「大震災の教訓と対策」 講師：枚方寝屋川消防組合 地域防災向上センター	27人
9/3	ラポールひらかた 研修室1	勉強会 ひらかた社協ふくしフェスティバルに向けて応急 手当他練習	22人
10/1	ラポールひらかた 集会室	勉強会 ・三角巾を使った応急処置 ・毛布を使ったガウン	18人
11/3	春日小学校	地域の依頼により、大阪府支部より講師を招き、「校 区防災訓練」で車いす操作実技講習を実施。 地域の参加者 400人	8人
11/5	ラポールひらかた 研修室1	勉強会 防災ずきんの作製	21人
11/16	ラポールひらかた 研修室4	第3回 ひらかた社協ふくしフェスティバル ・三角巾を使った応急手当 ・毛布による保温方法 来場者 416人(大人 237人・子供 179人)	9人
12/3	ラポールひらかた 和室	勉強会 ・防災について(課題把握) ・健康体操 ・折り紙	18人
1/6	ラポールひらかた 研修室1	勉強会 ・ロコモーション体操	26人
2/4	東大阪市消防局 防災学習センター 日本ライトハウス 情報文化センター	管外研修 ・防災体験学習 ・視覚障害者について理解を深める	33人
3/4	ラポールひらかた 作業室	勉強会 平成25年度振り返りと平成26年度の活動につ いて	23人

*参加協力事業

健康生活支援講習支援員養成講習の講師サポート及び赤い羽根共同募金(街頭募金)

(14) 枚方・交野地区保護司会の運営支援

保護司の職務を支援する組織として、枚方保護区(枚方市・交野市)を範囲に活動。定期事業の他に、更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会など)との連携支援、7月を強化月間とする「第63回社会を明るくする運動」の実施委員会の運営、準備・開催まで、全面的な運営支援を行った。

また、枚方・交野両市の協力を得て「枚方・交野地区更生保護サポートセンター」を10月1日、大阪府下12番目に開所、3月1日に同一地区内で2カ所目のセンターを全国で初めて開所した。

保護司数は、115人(平成26年3月末現在)。

①定期事業 (総会・定例会・研修事業など)

月 日	場 所	内 容
4/11	ラポールひらかた	広報部会 *第63回社会を明るくする運動 準備会 など
4/16	ラポールひらかた	理事会・定例会・各部会 *社会を明るくする運動について *各部会活動について
5/7	ラポールひらかた	監 査 *平成24年度 事業報告・決算
5/18	ラポールひらかた	理事会・決算総会 *平成24年度事業報告・決算 *管外研修について など

6/3～ 4	名古屋刑務所 岡崎医療刑務所	管外研修
6/20	交野市立保健福祉 総合センター	第一期定期研修 『社会資源について』 定例会 * 退任、新任保護司紹介 * 再任保護司委嘱状伝達 * 社明運動について
7/11	ラポールひらかた	新任保護司研修 (5月25日委嘱者) 『地区保護司会活動について』
8/21	交野市立保健福祉 総合センター	保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会合同研修会 『地域社会における更生保護団体の役割について』 講師：大阪B.B.S.連盟 副会長 川本 大輝氏、副会長 曾根 康行氏 大阪保護観察所 企画調整課 統括保護観察官 井之口 隆氏 定例会 * 管内研修、サポートセンター等について
9/19	交野市立保健福祉 総合センター	臨時総会 * 会則改正・補正予算について 定例会 * 管内研修、定期研修、大阪更生保護大会について
10/17	交野市立保健福祉 総合センター	第二期定期研修 『薬物依存対象者の処遇について』 定例会 * 退任、新任保護司紹介 * 再任委嘱状伝達 など
10/31	ラポールひらかた	新任保護司研修 (9月25日委嘱者) 『地区保護司会活動について』
11/21	更生保護施設 和衷会	管内研修 更生保護施設の見学 定例会 * 更生保護大会受賞者表彰伝達
12/19	交野市立保健福祉 総合センター	第三期定期研修 『面接のありかたについて』 定例会 * 管内研修報告、互礼会等について
1/7	ひらかた仙亭	枚方・交野地区保護司会新年互礼会
2/19	交野市立保健福祉 総合センター	第四期定期研修 『非行からの回復とその援助』 講師：大阪家庭裁判所 家事調停委員 西窪 幸一 氏 定例会 * 新任保護司紹介・再任保護司委嘱状伝達など
3/5	ラポールひらかた	新任保護司研修 (1月25日委嘱者) 『地区保護司会活動について』
3/22	ラポールひらかた	定例会 * 平成26年度事業計画・予算(案)について

②理事会 (11回) 4/16、5/10、5/18、6/20、8/21、9/21、10/17、11/21、12/19、
2/19、3/22

③役員調整会議の開催 (6回) 5/7、6/11、8/8、9/6、12/12、2/13

④候補者検討協議会の開催 (12回) [北部] 4/15、9/5 [中部] 4/17、8/28、11/27

[南部] 4/17、8/20、11/17 [東部] 4/15、8/28 [交野] 4/9、1/20

⑤更生保護啓発活動

月 日	場 所	内 容
5/10	ラポールひらかた	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 * 第63回社会を明るくする運動について
7/2	枚方市民会館 大ホール	第63回社会を明るくする運動 * 街頭パレード * 式典 (参加者数：516人) * アクション 枚方幼稚園、更生保護女性会「なでしこコーラス」 関西外国語大学吹奏楽部・チアリーダー部 * 街頭キャンペーン (絆創膏配布/16,000個/524人)
7/25	交野市立保健福祉 総合センター	枚方・交野地区更生保護大会 * 講演会『私の歩んだ人生と犯罪者の更生のための活動』 講師：よつば法律事務所 所長 大川 哲次 弁護士 * アクション 交野市立第三中学校吹奏楽部 (参加者数：410人)
8/25～26	枚方市役所周辺	ひらかたまつり出展 (社明運動キャンペーン) * アイスクリーム販売 * 啓発風船、絆創膏配布 (各1,500個) * 矯正施設作品矯正展 (更生保護女性会が協力出展) ※25日は大雨・洪水警報発令のため中止
7月～9月		第63回社会を明るくする運動作文コンテスト (小中学生対象) 応募 (応募数：300点) 両市中学3年生に、社明運動ロゴ入りクリアファイル配布 (4,703枚)

⑥関係団体との連携・懇談など

- ・関係団体 (10回)

⑦広報活動

- ・機関紙「みのり」の発行 第74号(7月1日)／第75号(1月1日)(各3,000部発行)
- ・ホームページの公開
- ・市広報等への掲載、マスメディアへの情報提供

⑧更生保護サポートセンターの開設

- ・名称 「枚方・交野地区更生保護サポートセンター(ひらかた・かたの)」
- ・開館日時 火・水・金・土・日曜日の午前10時～午後4時
(年末年始及び国民の祝日、その他会長が指定する日を除く)
- ・所在地 サポートセンター(ひらかた) H25.10.1開所
枚方市岡東町12-1 サンプラザ1号館201号室
サポートセンター(かたの) H26.3.1開所
交野市私部1丁目1-1 交野市役所別館2階

2. 住民会費等事業

社会福祉協議会の自主性を高め、行政の福祉施策とは違った住民主体の地域福祉活動を進めるために、校区福祉委員会を窓口として、校区コミュニティ協議会や自治会等の協力により、住民会員の募集を行った。集まった会費は、校区福祉委員会の活動助成をはじめ、ボランティア活動支援や社協だよりの発行など、誰もが住みよいまちづくりの推進を図るために活用した。

(1) 組織会員状況

社会福祉協議会が地域福祉推進の中核として機能できる組織づくりを目的とした組織会員は、本会の基本的な構成員で、本会事業運営に参画する団体・機関であり、積極的な加入促進を行うとともに、組織会員対象とした研修会などを行った。

◎組織会員数 157団体(平成26年3月31日現在)

(2) 社協会員募集状況

7月を会員募集強化月間として、会員を募集

会員種別	会員数	詳細	
住民会員	24,429人	30,262口	15,131,000円
特別住民会員	0人		0円
法人賛助会員	113法人	127口	1,270,000円
		福祉協力金	5,046,235円
		総計	21,447,235円

(会費の使い道)

校区福祉委員会活動助成(45校区)	10,492,342円
校区福祉委員会協議会運営費	307,544円
北河内ボランティアセンター助成	100,000円
ボランティアアドバイザー活動助成	1,507,500円
ボランティア保険助成	212,250円
枚方ふれあいフェスティバル開催助成	400,000円
ひらかた社協だより印刷配布費	6,768,463円
社協紹介リーフレット作成費	137,130円
住民会員募集事務経費	969,822円
社協ふくしフェスティバル・団体助成等	850,000円
合計	21,745,051円

※不足分297,816円については、前年度繰越金を使用

3. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動は福祉をはじめ、保健・医療・環境・教育・文化・スポーツ・防災など幅広く、活動内容も多様化している。また、高齢化・核家族化が進む中、ひとり暮らしの高齢者が増え、さまざまな個別的な生活支援が求められるようになってきている。

今年度は、「ちょいボラ」をセンターで随時開催し、気軽にボランティア活動をおこなえる環境を作って、幅広い人にボランティア活動に参加してもらえるようにした。また、災害ボランティアセンター設置・運営の見直しを行い、大規模災害時だけでなく小・中規模災害時にも対応できるようなマニュアルの改訂版の作成に着手した。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター開所状況 (単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	21	21	20	22	22	19	22	20	19	19	19	20	244

② 相談・コーディネート活動

1) 来所者状況

来所形態	件数
来所	4,921
電話	1,396
計	6,317

性別	件数
男性	2,288
女性	4,029
計	6,317

内容	件数
ボランティア活動希望	208
ボランティア派遣依頼	518
現任ボランティアの相談	1,578
ボランティア保険受付	810
各種情報提供等	2,656
講座・講習会参加者	119
サロン参加者	428
計	6,317

2) 来所者内訳

来所者	件数
現任ボランティア・グループ	3,458
学生	110
一般市民(主婦・シニア等)	1,395
地域(民生委員・福祉委員会・団体)	463
学校・教育関係	100
福祉施設・医療関係	588
行政・他市社協	203
計	6,317

対応結果	件数
調整(活動・依頼)	722
調整不可	0
取り下げ	4
相談・情報提供・講座・他	5,591
計	6,317

3) ボランティア登録状況(平成26年3月末現在)

- ・登録者数 892人(うち新規登録者 121人)
- ・連携しているボランティアグループ
ボランティアグループ連絡会加入(42グループ)、その他(37グループ)の計79グループ

③ 枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況

月日	場所	内容	出席数
7/4	ラポールひらかた研修室1	・平成24年度「ボランティア活動推進事業」事業報告 ・平成25年度「ボランティア活動推進事業」事業計画 ・相談事例・意見交換等	16人
2/4	ラポールひらかた研修室1	・平成25年度ボランティア活動推進事業の進捗状況 ・枚方市ボランティアセンターの課題 ・相談事例・意見交換等	15人

④ ボランティアグループ連絡会の活動状況

現在、市内42団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開している。また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」に参加し、府レベルの活動にも参画している。

1) 枚方市ボランティアグループ連絡会

- ・連絡会の開催（年間6回） ・役員会の開催（年間6回）
- ・枚方市敬老式典での高齢社会憲章朗読
- ・「赤い羽根」募金運動 街頭募金協力（10/1、10/2 計2回）
- ・社協ふくしフェスティバルの運営に協力（11/16）
- ・機関紙「ひろば」の発行（年1回/1500部）

2) 大阪府市町村ボランティア連絡会（計6回） ・総会、代表者会議、河北ブロック交流会、研修会

⑤ ボランティア関係機関との連携

1) ボランティア、市民活動中間支援組織との連携

- ・北河内ボランティアセンター、ひらかた市民活動支援センターとの連携・協働を図り、ボランティアコーディネーションや事例検討などの情報交換を行った。
- ・本センターと上記2センターによる3センター会議の開催 年間6回
- ・学校訪問等：各センターの資料、活動メニューなどを配布
- ・北河内ボランティアセンターと講座の共同開催（3/29）
テーマ「認知症基礎講座」北大阪医療生活協同組合本町診療所 山本 秀樹 氏
- ・NPO法人 ひらかた市民活動支援センター理事就任

2) 他市社会福祉協議会との交流会

- ・河北ブロックボランティアセンター担当者会議（2/13）

⑥ 情報提供、啓発活動の状況

1) 機関紙、冊子の発行

- ・情報紙『ぼらんていあアドバイザーニュース』発行（奇数月/年6回/各1,200部）
- ・ボランティアセンターのパンフレット配布

2) 情報媒体への提供・協力

- ・社協だより・広報ひらかた・FMひらかた・ボランティアOSAKA
- ・市社協及び府社協等関係機関のホームページ等

3) 各種機器、機材の貸与事業

- ・点字板 9件 ・アイマスク10件 ・白杖 10件 ・点字ブロック1件

⑦ ボランティアセンターホームページの運営

ホームページを活用して、ボランティアセンターの活動の様子やセンターが保有する各種情報の提供を行った。助成金情報をはじめ、福祉施設からのボランティア募集情報や、ボランティアグループからボランティア参加の呼びかけ等を掲載。また、連携をとっているボランティアグループの情報を掲載し、随時更新した。【 アクセス数 3,205（H25.12.4～H26.3.31） 】

(2) ボランティア・市民活動者研修・育成活動

① ボランティア体験プログラム…市内各施設の協力を得て、ボランティア体験の機会を設定した。

【実施期間】 7月1日～9月30日

【協力施設】 35施設（障害者施設：6/高齢者施設：16/保育所：13）

【参加人数】

参加対象	高校生以下	大学生	社会人	合計
人数(人)	12	14	15	41
延日数	17	32	34	83

② ボランティア・市民活動講座

- ・ボランティアスクール手話講座（6/15・22・29,7/6 全4回、各日25人）

- ・手作りおもちゃ講習会（7/11、12/5 各40人）
- ・夏休み親子おもちゃ教室（7/27 20人）
- ・傾聴ボランティア養成講座（9/4・11・18・25 各30人）
- ・マジック講座（11/14・21・28 全3回 20人）
- ・ボランティア健康講座（2/5 43人）

③小中学校への福祉体験講座を実施

市内小学校5校、中学校4校、高等学校1校で、車いすや、アイマスク・白杖体験を実施。

(3) ボランティア・アドバイザー育成・設置事業

ボランティア活動の経験を生かして、ボランティア活動に関する相談や情報提供を行う「ボランティア・アドバイザー」を設置。今年度はアドバイザーとグループのリーダー研修を実施し、ボランティアグループが抱える問題点や課題を明確にし、グループで話し合うきっかけ作りを行った。

【ボランティア・アドバイザー】 15人

1日延べ4人、2交替の体制で配置。（従事時間：午前9時30分～午後5時）

※ミーティングを毎月第4（火）、年間12回開催

①ボランティア・サロンの開催

「ボランティアセンターはボランティア活動者の交流地点」をテーマに、アドバイザーが企画・運営。

4月	「テディベア」作り	(21人)
5月	「いろいろな福祉用具の選び方」	(16人)
6月	「可愛いうさぎちゃん」を作ろう	(12人)
7月	「ふうりんとどんどろ工作」	(20人)
8月	「牛乳パックで船造り」	(20人)
10月	「地元にもある物語のある古代植物（樹木）のおはなし」	(39人)
12月	「男の料理教室」	(20人)
2月	「帯地で作る小物入れ」	(7人)
3月	「帯地で作る小物入れ」	(50人)

計 9回 /参加者： 205人

(4) 災害時の支援体制づくり

今年度は、災害ボランティアに配布する「災害ボランティアハンドブック」を作成。また、市内の中学校に出向き、災害ボランティアについての勉強会を行った。

毎年1月に行っている災害ボランティアセンターの設置訓練では、河北ブロックの職員だけでなく、他府県の職員の参加もあり、災害ボランティアに関する他地域との情報交換を行うことができた。また、「枚方市災害時要援護者避難支援事業」では、枚方市とともに、校区コミュニティ協議会の協力による地域を基盤とした災害時要援護登録者の避難支援体制づくりを行った。

①災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションの実施

改訂版作成中の『災害ボランティアセンター設置・活動マニュアル』に基づき、見直した様式等を使用し、災害ボランティアセンターの設置訓練を実施した。訓練参加者からの評価・意見を集約し、マニュアルの改訂に反映させる。

月日	場所	内容	出席数
1/23	ラポールひらかた 大研修 研修室1	【テーマ】小中規模災害（水害）を設定し、被災地となる枚方市社協職員と他市、他府県の社協職員や、NPO等関係団体、それぞれ応援派遣される職員の立場や役割を明確にし、連携を強化。 1) 災害ボランティアセンター開設訓練 2) 災害ボランティアセンター運営訓練 3) 振り返り・研修 河北ブロック7市より、各社協の危機管理マニュアルの状況報告。	105人

②災害時支援者の養成

平成25年11月9日（土） ラポールひらかた 大研修室 参加者 68人

災害時支援ボランティアを対象に研修を行った。近年マスコミでも東南海、南海地震のシミュレーションで大阪においても甚大な被害がもたらされるとの報道がある中、今年度は改めて地震に対する心構えや防災意識を高めるために阪神淡路大震災の語り部を招き、当時の被災体験を通じて、地域のコミュニケーションの大切さ、地震に対する備えなど防災、減災についての学習を行った。

③災害時要援護者支援ボランティアの募集

- ・募集期間 通年
- ・登録者数 182人
- ・啓発方法 広報ひらかた、社協だよりに募集記事を掲載。募集チラシを配布。

④災害時要援護者避難支援事業の実施

枚方市の委託を受け、民生委員児童委員協議会との連携により、災害発生時に、自力で指定避難場所まで避難することが困難な高齢者や障害者を対象とした登録受付、登録者リストの作成を行い、迅速な安否確認、円滑な避難誘導などの体制づくりをすすめた。

〈要援護者登録状況〉1,159人（男性 280人 女性 879人）（平成26年3月末現在）
65歳以上の高齢者1051人、障害者108人

⑤ひらかた災害防災学校に参加

平成26年3月30日（日） 13:00～17:00 メセナひらかた会館

- ・災害ボランティアセンター設置についての啓発コーナーの出展（DVD上映等）
- ・枚方災害シミュレーション（水害編）にパネラーとしての参加

4. 小地域ネットワーク活動推進事業

高齢者、障害者（児）、子育て中の親子などが、地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、たすけ合い活動を小地域で行う体制を構築することを目的とした小地域ネットワーク活動を、校区福祉委員会を中心に展開した。またその活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等の機会を積極的に開催した。

(1) 校区福祉委員会協議会

①役員会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/8	ラポールひらかた 特別会議室1	・平成24年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・平成24年度校区福祉委員会協議会決算・監査報告について ・平成25年度住民会員募集について ・各種委員会委員の選任について	10人
8/9	ラポールひらかた 集会室	・平成25年度住民会員募集の中間報告について ・赤い羽根共同募金について ・校区福祉委員会協議会会則の一部変更について ・夏期献血街頭キャンペーンについて ・いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座について	9人
12/4	ラポールひらかた 特別会議室1	・平成25年度住民会員募集の中間報告について ・平成25年度歳末たすけ合い募金について ・社協会員制度について ・コミュニティソーシャルワーカー出張相談について ・冬期献血街頭キャンペーンについて ・全体会議及び会長研修会について	10人
2/28	ラポールひらかた 特別会議室1	・平成25年度住民会員募集及び歳末たすけ合い募金の報告について ・社協会員制度について	10人

		<ul style="list-style-type: none"> ・社協経営戦略プログラム（第2期）アンケート調査の結果について ・平成26年度校区福祉委員会協議会事業計画(案)について ・平成26年度校区福祉委員会協議会関係予算(案)について ・精神保健福祉推進協議会委員の選任について 	
--	--	--	--

②全体会議開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/17	ラポールひらかた研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度住民会員募集について ・平成24年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・平成24年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について ・校区福祉委員会協議会役員改選について ・社協理事・評議員、各種委員会委員の選任について ・いきいきサロン健康作りサポーター養成講座について 	45人
12/13	ラポールひらかた研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度住民会員募集の中間報告について ・平成25年度歳末たすけあい募金について ・校区福祉委員会協議会会則の一部変更について ・コミュニティソーシャルワーカー出張相談について ・平成26年度校区献血について 	45人
3/18	ラポールひらかた研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度社協会員及び歳末たすけあい募金の報告について ・社協経営戦略プログラム（第2期）アンケート調査の結果について ・平成26年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・平成26年度校区福祉委員会協議会関係予算（案）について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・ひとり暮らし老人会運営活動助成金に関する書類の提出について ・平成26年度ボランティア保険について ・平成26年度校区献血日程について ・冬期献血街頭キャンペーンの結果報告について 	45人

③各エリア会議開催状況

ア) 北エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
7/10	ラポールひらかた研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度北エリア管外研修会について ・各校区の活動状況について 	25人
9/11	大阪市下水道科学館	【管外研修】 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道の仕組みと役割について説明 ・豪雨体験、水のシアター、下水道の維持管理見学 	28人
12/4	ラポールひらかた研修室1他	【活動者交流会】 <p>小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、活動テーマ別の交流会を開催</p>	31人
3/19	ラポールひらかた研修室2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度北エリア年間計画について 【研修会】 <p>「東日本大震災から学ぶ地域と家庭の防災対策」 講師：枚方寝屋川消防本部 地域防災向上センター 職員</p>	15人

イ) 中エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
7/ 3	ラポールひらかた 研修室 1	・エリア代表の選出について ・中エリア事業計画について ・枚方市内の各校区の地域福祉活動について	26人
12/10	ラポールひらかた 研修室 1 他	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象に、活動 テーマ別の交流会を開催	33人
3/27	兵庫県 明舞団地 明舞安心ミニデイ サービス 等	【管外研修】 「明舞団地まちづくり委員会の取り組みについて」 ～明舞団地再生計画とコミュニティ再生の取り組みについて～ ・兵庫県 明舞安心地区推進協議会との活動交流会	27人

ウ) 南エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
7/30	ラポールひらかた 大研修室	・平成25年度南エリア事業計画について ・管外研修会について ・枚方市内の各校区の小地域ネットワーク活動の取 り組みについて	33人
11/13	大津市明日都 浜大津	【管外研修】 ・滋賀県大津市中部ブロック地区社会福祉協議会と の活動交流会	33人
12/10	ラポールひらかた 研修室 1 他	【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、 活動テーマ別の交流会を開催	40人
3/14	ラポールひらかた 研修室 1	・個別援助活動の取り組みについて 【他市の活動紹介】 「緊急時安否確認（かぎ預かり）モデル事業につい て」 報告者 寝屋川市社会福祉協議会 地域福祉係長 濱吉 信彰 氏	19人

エ) 東エリア会議

月 日	場 所	内 容	出席数
6/5	菅原東自治会集会所 「ぶらっとホーム」	・平成25年度東エリア事業計画について ・東エリア管外研修会について 【懇談会】 テーマ 「地域活動の現状と課題について」	22人
10/23	青葉仁会 「あおはにの家」他 シャープ天理工場	【管外研修】 障がい者支援施設「あおはにの家」と周辺施設の視 察研修 シャープミュージアム見学	32人
11/9	菅原東自治会集会所 「ぶらっとホーム」	・来年度の献血日程の調整について 【活動者交流会】 小地域ネットワーク活動の担い手を対象として、 活動テーマ別の交流会を開催	22人
2/19	津田生涯学習市民 センター 第1集会室	・平成26年度東エリア活動計画（案）について ・第4次地域福祉活動計画の進捗状況について （パワーポイントを使って他校区の活動紹介等）	23人

(2) 研修会開催状況

①校区福祉委員会活動者研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
10/31	ラポールひらかた 大会議室	〈テーマ〉 「発達障がいでってなんだろう？」 ～生きにくさの背景にあるもの～ 講師 枚方市立小学校「心の教室」相談員 教育カウンセラー 近藤 善枝 氏	122人

②校区福祉委員会会長研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
12/13	ラポールひらかた 研修室1	〈テーマ〉 「共に支えあう地域づくり」 ～福祉課題を知ることは地域福祉活動に結びつく～ 講師 介護共育研究会 代表 石川 立美子 氏	43人

③校区福祉委員会会計担当者研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
6/5	ラポールひらかた 大研修室	・校区福祉委員会の活動と財政について ・校区福祉委員会会計の処理について	78人

④いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座

月 日	場 所	内 容	出席数
8/7 8/22	ラポールひらかた 大研修室	〈内 容〉 「転倒予防に効果のある体操」他 講師 枚方市立保健センター 作業療法士、理学療法士、保健師、栄養士	65人

(3) 小地域ネットワーク活動推進事業

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全45校区福祉委員会が、各校区の地域特性に応じて住民主体で取り組む小地域ネットワーク活動の支援を行った。

1) 個別援助活動

- ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
- ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動

2) グループ援助活動

- ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
- ・子育て中の親子が集まり、親同士の情報交流等を行う子育てサロン活動
- ・住民全般を対象とした世代間交流活動

3) 校区福祉委員会等活動

- ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
- ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

(小地域ネットワーク活動推進事業に関する研修への参加)

月 日	場 所	内 容	出席数
1/23	大阪国際交流センター	テーマ 「小地域活動における拠点について」 ～コミュニティサロン‘えび庵’の取り組みから考える～ 講 師 大阪市立大学 生活科学部 非常勤講師 竹村安子氏 主 催：大阪府社会福祉協議会	27人

(4) その他の活動

- ・社協住民会員募集の協力（7月）
- ・献血街頭キャンペーンの参加
夏期（7/22、7/26、8/21、8/26）
冬期（12/17、12/24、1/22、1/27）
- ・歳末たすけあい募金運動の協力（12月）

5. 助成事業

福祉団体やひとり暮らし老人会などの当事者組織が、円滑な組織運営や活動を行えるように助成するとともに、連絡会の活動支援を行った。

(1) 枚方市福祉団体連絡会の活動支援

①開催状況（総会1回、定例連絡会8回 計9回）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/17	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度 新役員の紹介について ・平成25年度 福祉団体活動助成金について ・第1回 交流会の報告について ・総会について 	13人
5/21	ラポールひらかた 研修室1	[総会] <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業報告・決算・監査報告 ・平成25年度事業計画・予算（案） ・研修会「認知症について」 講師 ポーボットメディカルクリニック 院長 亀廣 聡 氏 	37人
6/24	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・市要望書について ・第2回 交流会について ・団体助成について 	15人
8/5	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療・福祉フェスティバル ・市要望書について ・第1回 研修会（管外）について ・障害者週間啓発イベントについて 	12人
8/29	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・市要望書説明会について ・第1回 研修会（管外）について ・障害者週間啓発イベントについて 	12人
10/7	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 研修会（管外）について ・障害者週間啓発イベントについて ・市要望書説明会について 	12人
11/12	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・市要望書説明会について ・障害者週間啓発イベントについて ・第2回 研修会（管内）について 	13人
1/17	ラポールひらかた 特別会議室1	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者週間啓発イベントについて（報告） ・民間バス借り上げ補助金申請について ・第3回交流会について ・平成26年度 第1回交流会について 	14人

3/11	ラポールひらかた 団体共用ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回交流会について ・平成25年度決算見込みについて ・平成26年度 第1回交流会について ・平成26年度 総会について 	13人
------	---------------------	---	-----

②企画委員会の開催

- ・年10回開催 委員5人（監事を除く連絡会役員）
- ・連絡会での提案・検討内容及び主催事業の企画・検討を行った。

【開催日】4/30（5人）、6/10（2人）、7/22（5人）、8/8（5人）、9/13（4人）、
11/8（5人）、12/20（5人）、1/16（4人）、2/10（4人）、3/31（4人）

③各種事業の開催について

月 日	場 所	内 容	参加数
4/3	京都市	第1回交流会（黄桜記念館・醍醐寺）	35人
7/31	神戸市	第2回交流会（神戸港クルーズ他）	30人
10/16	青葉仁会 （奈良市杣ノ川町）	第1回研修会（管外） 場所：社会福祉法人 青葉仁会 （指定障害者支援施設）	31人
11/29	メセナひらかた 大会議室	市要望書説明会	47人
12/4	枚方市駅周辺及び ラポールひらかた 大研修室	障害者週間啓発キャンペーン 午前 枚方市駅ロータリー付近にて啓発用ティッシュ配布 午後 イベント（ラポールひらかた大研修室） 障害当事者（視覚障害）講演・大正琴演奏 ※今年度は枚方市民生委員児童委員協議会の協力を得て 開催	87人
1/29	ラポールひらかた 研修室1	第2回研修会（管内） 成年後見制度について 講師：大阪後見支援センター 堤添 隆弘 副部長	28人
2/20	ラポールひらかた 日常生活訓練室	料理教室 アメリカ家庭料理 （ミートローフ・ガンボスープ・マッシュポテト他） 講師：聴覚障害児親と子の会 若槻 美可 氏	14人

④ 健康・医療・福祉フェスティバル開催に協力

模擬店参加（3団体）

⑤ 社協ふくしフェスティバル開催に協力

模擬店参加（4団体）

（2）枚方市ひとり暮らし老人会連絡会の活動支援

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもとに結成された、ひとり暮らし老人会の連絡調整を図り、校区福祉委員会・社会福祉協議会及び関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化とひとり暮らし老人の福祉向上を目的として、次のような活動を推進した。

【ひとり暮らし老人会設置状況】

平成25年 4月1日現在

当該校区福祉委員会数	設置数	会員総数
45校区	41会	1,388人

①連絡会の開催状況

1) 役員会 4/24, 5/22, 6/26, 7/24, 8/21, 9/25, 10/23
11/27, 12/18, 1/22, 2/26, 3/26 計12回

2) 全体会

月 日	場 所	内 容	出席数
5/29	ラポールひらかた 研修室1	・平成24年度事業報告・決算報告について ・平成25年度事業計画(案)・予算(案)について ・会長・役員研修会(管内・管外)について	38人
11/18	ラポールひらかた 研修室1	・平成25年度上半期事業報告について ・平成25年度下半期事業予定について ・アンケートの実施について	38人
2/7	ラポールひらかた 研修室1	・平成25年度決算見込みについて ・アンケート集計結果について ・交流研修会について	36人

②研修会の開催状況

1) 会長・役員研修会(管内研修)

月 日	場 所	内 容	出席数
8/28	ラポールひらかた 大研修室	1部 「糖尿病について」 講師 亀岡内科 医師 亀岡 慶一 氏 2部 アトラクション クイズ・ゲーム 等	96人

2) 会長研修会(管外研修)

月 日	内 容	出席数
11/6	研修先：大阪市環境局舞洲工場 ほか	34人

3) 全体研修

月 日	場 所	内 容	出席数
3/3	ラポール ひらかた 大研修室	映画「武士の家計簿」(2回上映)	延べ 223人

4) ブロック別交流・研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
1/7	ラポールひらかた 大研修室	【Aブロック(9会)】 ・転倒予防について ・ひらかたの爺コンサート	97人
10/30	ラポールひらかた 大研修室	【Bブロック(7会)】 ・講演 枚方市東部清掃工場について ・頭の体操、レクレーション	70人
11/11	ラポールひらかた 大研修室	【Cブロック(6会)】 ・講演 地域包括支援センターについて ・アトラクション(マジック・踊り・大正琴・カラオケなど)	126人
1/29	香里団地D地区 集会所	【Dブロック(5会)】 ・アイリスによる健康体操 ・カラオケ	30人
11/29	ラポールひらかた 大研修室	【Eブロック(5会)】 ・講演「古代樹木について」 ・懇談会	80人

		・アトラクション（人形劇・合唱）	
11/22	藤阪ハイツ 管理センター	【Fブロック（5会）】 ・講演「健康的な生活を送るために」 ・アトラクション（マジックショー・ハーモニカ演奏 各会の紹介）	70人
11/6	津田生涯学習 市民センター	【Gブロック（3会）】 ・交野警察より防犯について講演 ・ギター演奏 ・お楽しみ会・ゲーム	55人

③関係機関・団体等との連携事業の状況

月 日	場 所	内 容	出席数
10/1	ラポールひらかた 大研修室	民生委員児童委員協議会「高齢者福祉部会」との懇談会 講演「高齢者サービスについて」 講師 枚方市高齢社会室 中井 さおり 氏 交流会：各テーブルごとで話し合い アトラクション（マジック）	112人 (内会員) 86人

④ 小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

- 1) 月例開催状況 年間11回 1, 147人（延べ人数）
主に、メセナひらかた大会議室及びラポールひらかた大研修室で活動
- 2) 主催行事 *友愛訪問：特別養護老人ホーム「里仁館」（10月18日、48人）

6. 献血推進事業

全国的に少子高齢社会が進行し、血液製剤の国内自給をめざして、献血人口の拡大と400ml献血・成分献血の献血者を安定的に確保する必要性を関係機関等に強く訴える中、平成25年度は、400ml献血・成分献血の推進を図るとともに、高校・大学生及び60歳以上の方への献血協力を促す啓発活動に重点を置き活動を展開した。また、枚方市駅献血ルームの啓発活動として、関係機関・団体等の協力により、市内全域にポスターを掲示することができ、一定の成果を上げることができた。

(1) 事業内容

①献血推進協議会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
6/28	ラポールひらかた 研修室2	・役員の選出について ・平成24年度枚方市献血推進協議会事業報告及び平成25年度事業計画について ・枚方市駅献血ルームの献血実績について ・枚方市夏期献血街頭キャンペーンについて	22人
11/8	ラポールひらかた 研修室1	・枚方市夏期献血街頭キャンペーン結果について ・枚方市冬期献血街頭キャンペーン実施計画について ・上半期献血実績について ・若年層献血啓発及び事業所啓発の取組状況について	20人

②研修会開催

6月28日 テーマ：「日本赤十字社の活動」～血液事業の現状と課題～
講 師：大阪府赤十字血液センター北大阪事業所
事業課長 林 雅人 氏

③街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前及び京阪樟葉駅前、京阪枚方市駅献血ルーム周辺で、枚方市献血推進協議会委員ならびに献血推進員（校区福祉委員会会長）が、ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びか

けるなどの啓発を行った。また、キャンペーン実施場所周辺を広報車で回り、献血協力を呼びかけた。

(単位：人)

	実施日	場所	啓発参加者数	受付者数	採血者数
夏期	7月22日	樟葉駅前	14	55	41
	7月26日	枚方市駅前(ルーム前)	11	61	52
	8月21日	枚方市駅前(ルーム前)	17	65	56
	8月26日	樟葉駅前	15	57	48
小計			57	238	197
冬期	12月17日	枚方市駅前(ルーム前)	14	60	54
	12月24日	枚方市駅前(ルーム前)	18	44	43
	1月22日	枚方市駅前(ルーム前)	11	54	52
	1月27日	樟葉駅前	15	39	30
小計			58	197	179
合計			115	435	376

【実施時間】 午前10時30分～11時30分 午後1時～2時

④校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、26校区において献血を実施した。実施にあたり、広報活動など積極的に援助・協力するとともに、献血に関する必要な情報提供を行った。なお、広報活動として、PR用チラシの配布(全戸配布用・回覧用)とポスターの掲示を行った。また、枚方市駅献血ルームの冬期啓発ポスターを各校区福祉委員会に配布し献血推進の啓発に努めた。

⑤関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を展開した。

(2) 枚方市献血実績

(単位：人)

実施区分(域)	① 受付者数	② 採血者数 ②/①	採血者内訳			主催団体 実施場所等
			200ml	400ml	成分	
街頭	1,908	1,414 74.1%	1 0.1%	1,413 99.9%	0 0.0%	ビオルネ 樟葉駅前
学域	1,501	950 63.2%	161 16.9%	789 83.1%	0 0.0%	短期大学 大学等
職域	1,541	1,256 81.5%	100 8.0%	1,156 92.0%	0 0.0%	事業所・病院 市役所 等
校区	1,347	1,015 75.3%	149 14.7%	839 82.7%	27 2.6%	校区福祉委員会等
血者計(小計)	6,297	4,635 73.6%	411 8.9%	4,197 90.5%	27 0.6%	街頭～地域 の合計
献血ルーム	16,489	14,481 87.8%	478 3.3%	5,408 37.3%	8,595 59.4%	枚方市駅献血ルーム
総合計	22,786	19,116 83.8%	889 4.7%	9,605 50.2%	8,622 45.1%	採血車・献血ルーム の合計

(採血者数下の%は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の%は、採血者数に対する構成比。)

7. 福祉サービス利用援助事業

平成25年度は、契約数を増やすとともに、利用者の成年後見制度への移行等、状況に応じた効率的な支援を行い、待機者0人を維持した上で利用者の増加も実現した。

(1) 事業概要

①目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送ることができるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- 1) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、代行・代理等）
- 2) 日常的金銭管理（日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等）
- 3) 書類等の預かり（印鑑、各種証書等を貸金庫に保管）
- 4) 監査委員会の運営
- 5) 関係機関との連携

③職員体制：専門員2人・生活支援員（サポーター）7人

(2) 実績

①サービス提供状況（契約件数 103件）

	福祉サービス 金銭管理	福祉サービス 金銭管理・預かり	計	内 訳		
				継 続	新 規	解 約
認知症高齢者	15	31	46	34	12	12
知的障害者	13	15	28	17	11	1
精神障害者	7	22	29	24	5	3
計	35	68	103	75	28	16

※解約理由：施設入所、成年後見人への移管、死亡等

②専門員稼働状況

- ・問い合わせ 114件
- ・初回相談 51件（相談受付）
- ・訪問 144件（初期訪問、ガイドライン調査、相談援助訪問等）

③生活支援員（サポーター）稼働状況

- ・訪問 2,273件（内訳：金銭授受2,053件、身上配慮220件）
- ・手続代行等 3,892件 ・相談援助 1,917件（電話対応）

(3) 監査委員会

年2回、事業実施状況について、監査委員（2人）による監査を実施した。

- ・平成25年8月13日
（案件）・平成24年度事業報告 ・平成25年度事業計画 ・平成25年2月～5月期の事業実施状況
- ・平成25年11月27日
（案件）・平成25年6月～9月期の事業実施状況

(4) その他（大阪後見支援センター主催の会議・研修、実地調査等）

- ①新任者研修 ・平成25年6月11日 専門員 1人
- ②マッセ・市民セミナー ・平成25年7月11日 支援員2人
「高齢者や障がい者など判断能力が不十分な方をサポートする権利擁護活動」
- ③担当者会議 ・12月5日・3月6日 専門員 1人
- ④生活支援員会議 ・平成25年 9月9日 支援員 2人
・平成25年12月10日 専門員1人
・平成26年3月11日 専門員1人
- ⑤大阪後見支援センターによる日常生活自立支援事業実地調査 ・平成25年9月27日

8. 精神保健福祉推進事業

(1) 精神保健福祉推進事業

昭和46年に枚方市が制定した「精神衛生都市宣言」の趣旨を踏まえ設立された枚方市精神保健福祉推進協議会の運営を通じて、関係機関・団体と連携を図り、精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発とともに市民の誰もがこころの健康を維持できるように思春期児童・生徒の「こころの健康づくり」を目的とした事業を実施した。また、こころに病のある人とその家族などによる当事者活動への支援及び精神保健福祉ボランティア活動の支援などを行った。

①枚方市精神保健福祉推進協議会の開催状況

精神保健福祉の制度・施策に関する最新情報、枚方市における当事者活動の状況、心の健康に関する課題などについて関係機関・団体と共有することにより、効果的な事業推進を行うことができた。

月 日	場 所	内 容	出席数
9/30	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 委員の紹介について 平成25年度 上半期事業経過報告について 平成25年度 下半期活動予定について 情報提供 各団体からの報告について 	20人
3/19	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 委員の紹介について 平成25年度 事業経過について 平成26年度 事業予定(案)について 情報提供 各団体からの報告について 	19人

②企画検討部会の開催状況

心の健康づくりや心の病についての正しい知識の普及を図るための企画検討を実施した。本年は、心の病の若年層をテーマとし、教育委員会・学校と連携を図り、教職員を対象とした研修等により思春期児童の心の病などについての情報提供を行うなど、普及啓発を行った。

月 日	場 所	内 容	出席数
5/31	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> 委員の紹介について 平成24年度 事業報告について 平成25年度 事業計画について 取り組みの方向性について 	9人
7/12	枚方市教育 文化センター 3階 研修室	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市立小中学校養護部会役員会において「思春期児童・生徒の「こころの健康」「こころの病」をテーマとした研修について」(ご案内) 打合せ 	企画部会 4人
8/21	枚方市教育 文化センター 3階 研修室	<ul style="list-style-type: none"> 枚方市立小中学校養護部会会員研修会「思春期児童・生徒の「こころの健康」「こころの病」をテーマとした研修」 講師：企画検討部会 辻副部会長 他委員4名 	養護教諭 53人
11/21	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> 委員の紹介について 正・副部会長選出 今後の取り組みについて 	11人

		<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度上半期事業経過状況について ・教育委員会との連携について 	
3/28	ラポールひらかた 特別会議室2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業実施状況について ・今後の取組みについて ・平成26年度 事業計画について 	7人

③ふれあい交流事業の実施状況

1) しあわせHOTフェスティバル

地域で暮らす心の病を持つ人が、安心して過ごせる地域づくりの輪を広げていくことを目的に、当事者を中心とした実行委員会により市民との交流イベントの企画・運営を行った。多くの市民が参加し、心の病を持つ人が地域で暮らすことについて理解を広げることができた。

- ・テーマ：「地域で幸せに暮らす！ ～それぞれの幸せのかたち！！～」
- ・主催：ふれあい交流事業ワーキンググループ
- ・後援：枚方市・枚方市教育委員会・精神医療センター・関西記念病院・東香里病院
枚方保健所・枚方市社会福祉協議会
- ・ワーキンググループ開催（計12回）

月 日	場 所	内 容	出席数
2/15	ラポールひらかた 大研修室他	<p>「しあわせHOTフェスティバル」13:30～16:30 ～地域でしあわせに暮らす！ それぞれのしあわせのかたち～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形劇・紙芝居「人形劇団やなぎ」 ・トークセッション「当事者の体験談発表」 さくら事業所・陽だまりの会・フォレスト倶楽部 やなぎの里の当事者による、地域での暮らしや、 過ごす中で感じる事などについての発言。 ・ミニコンサート「弾き語りゆうさん」 	82人

④ゼミナール・講演会等の開催状況

当事者や専門の講師を招き精神保健福祉の重要性及び心の健康づくり、心の病等についての正しい理解を深め、差別や偏見のない住みよい社会を築くことを目的に研修会等を開催した。

1) こころの保健ゼミナール

月 日	場 所	内 容	参加者数
8/19	ラポールひらかた 大研修室	<p>テーマ 「枚方市におけるひきこもり・ニートの現状と施策について」</p> <p>講師：枚方市子ども青少年課職員 枚方市教育委員会教育相談課職員 NPO法人 ホース・フレンズ事務局職員</p>	97人

2) こころの健康講座（当事者団体と共同開催）

月 日	場 所	内 容	参加者数
11/30	ラポールひらかた 大研修室	<p>テーマ 「～恐山 自死に向き合う～」</p> <p>講師：恐山菩提寺院代 代表 南 直哉 氏</p>	63人
3/2	ラポールひらかた 研修室1	<p>テーマ 「知ってるようで知らない!アルコール問題」</p> <p>講師：新阿武山クリニック 医師 平野 建二 氏</p>	45人

3) 市民活動啓発講座

月 日	場 所	内 容	参加者数
9/18	ラポールひらかた 研修室1	テーマ 「“くすり”と健康食品の正しい使い方」 講師：元 摂南大学薬学部教授 元 大阪大学院薬学研究科特任教授 相本 太刀夫 氏	40人

⑤セルフヘルプグループの活動支援

精神障害者クラブ「ひらりの会」、心に病を持つ者の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動の支援を行った。

⑥こころの電話相談の支援

実施日時：毎日（1月1日・2日を除く）午前10時～午後4時

相談員：研修を経た相談員 約70人 交代制

実施日数：363日

相談件数：3,481件（内訳：男性1,881人・女性1,600人）

⑦広報・啓発等の状況

啓発資材の配布（社会福祉協議会等の主催事業時に適宜配布）

- ・枚方市精神保健福祉推進協議会の啓発用パンフレットを適宜配布
- ・機関紙「ほっとTime」の発行（2,000部）各関係機関へ配布

(2) 枚方市自殺予防対策事業

枚方市自殺予防対策事業（以下、「本事業」という。）は、自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成や市民への情報提供と啓発を推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

1. 電話相談支援事業（ひらかた いのちのホットライン）

自殺予防に係る専門の研修を終了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

- ・実施日時 毎週月・水・金曜日 午後1時～午後8時
- ・相談従事者 枚方市が実施する相談従事者育成のための研修を修了した者
- ・実施日数 157日・相談件数 175件

2. 人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成及び、自殺を考えている人のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へとつなげる役割を担うゲートキーパーを養成するための研修を実施した。

①フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に今回は主に聴き方を中心に研修を行った。

- ・グループ別研修（各グループ10回） 受講者65名
25年4月から25年3月まで毎月1回（8月・1月を除く）
- ・指導者養成講座（10回） 受講者6名

②ゲートキーパー養成研修

自殺についての正しい知識の普及を図るとともに、自殺のサインに気づき、見守り必要に応

じて適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に「自殺防止ゲートキーパー養成研修」を実施。

1回目

- ・開催日時 平成25年9月26日(木) 13時30分～15時30分
- ・講師 みんなで作る学校 とれぶりんか 代表 中川 雄二 氏
- ・受講対象者 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議参加団体
- ・参加人数 34人

2回目

- ・開催日時 平成25年10月5日(土) 15時00分～17時05分
- ・講師 関西医科大学附属枚方病院 精神神経科医師 板東 宏樹 氏
- ・受講対象者 枚方市薬剤師会、関西医科大学附属枚方病院職員
枚方市地域包括支援センター職員
- ・参加人数 55人

3回目

- ・開催日時 平成26年3月17日(月) 14時00分～16時00分
- ・講師 関西医科大学附属枚方病院 精神神経科医師 板東 宏樹 氏
- ・受講対象者 枚方市薬剤師会、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、関西医科大学
附属枚方病院職員、枚方市地域包括支援センター職員、
介護支援専門員連絡協議会、障害者支援センター、
北大阪地域産業保健センター、北大阪商工会議所、ハローワーク、
弁護士会、司法書士会、民生委員児童委員協議会
- ・参加人数 91人

③普及啓発事業

啓発キャンペーンの実施や自殺予防をテーマとした講演会の開催、各種相談窓口記載のリーフレットの配布など、広く市民への情報提供と啓発を行った。

1) 啓発イベントの実施

自殺予防対策週間や自殺対策強化月間において、街頭啓発キャンペーンを実施した。

1回目

- 日時 平成25年9月10日 7時30分～1時間程度
- 内容 啓発用ティッシュ配布
- 場所 京阪電車 枚方市駅・樟葉駅

2回目

- 日時 平成26年3月18日 7時30分～1時間程度
- 内容 啓発用ティッシュ配布
- 場所 京阪電車 枚方市駅・樟葉駅

2) 講演会の開催

14年連続で自殺者数が3万人を超えていたが、平成24年以降減少傾向にある。しかし、近年は10代・20代の若年層の自殺者が増えていることが新たな課題となっている。

今回は、命の大切さへの気づきをテーマとして、映画上映会を開催しました。

映画「ツレがうつになりまして」上映

- 日時 平成26年3月26日 14時～16時
- 場所 ラポールひらかた 4F・大研修室
- 参加人数 89人

3) リーフレットの配布等の情報提供

各種相談窓口を記載したリーフレットを関係機関・団体や市民に配布することにより、広く市民への情報提供と啓発を行った。

9. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び自立・社会参加の促進を図ることを目的として、生活福祉資金貸付事業を実施した。

個人や世帯それぞれの状況と必要性に合わせた資金、例えば、就職に必要な知識・技術等の習得や高校、大学等への就学のための資金などの貸付を行った。

低所得者や失業者等の生活再建に向け生活費及び一時的な資金の貸付けを行う総合支援資金には、生活支援費・住宅入居費・一時生活再建費の3つの項目があり、全体数は過去と比較して件数・決定金額とも減少傾向にある。

(1) 生活福祉資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接件数	27	39	18	27	22	28	51	33	23	38	56	59	421	2
貸付件数	3	4	0	2	2	1	5	3	2	1	7	17	47	

(単位：円)

区 分	貸付件数	貸付決定金額
福祉費	7	7,145,000
小口生活資金	6	500,000
生活復興支援資金	0	0
教育支援資金	33	15,038,000
不動産担保型生活支援(一般世帯)	0	0
〃 (要保護世帯)	1	4,774,000
合 計	47	27,457,000

(2) 総合支援資金貸付

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接件数	16	17	3	11	9	5	13	5	4	5	11	7	106	4
貸付件数	1	0	3	0	2	1	1	3	0	0	0	2	13	

(単位：円)

区 分	貸付件数	貸付決定金額
生活支援費	11	2,860,000
住宅入居費	0	0
一時再建費	2	208,000
合 計	13	3,068,000

* 常用就職による貸付中止(減額)件数：1件あり

(3) 臨時特例つなぎ資金

(単位：円)

面接件数	申請件数	貸付件数	不承認件数	貸付決定金額(総額)
21件	0件	0件	0件	0

10. 住宅改造助成調査事業

重度身体障害者及び重度知的障害者(児)の人たちが、日常生活の自立や介護の負担軽減を図るため、心身の状況や家屋の構造などに合わせた住宅改造を行う場合、改造費用の一部を公的制度で助成。

本事業の推進のため、本会担当者と作業療法士や理学療法士等によるリフォームチームが介護支援専門員と連携し、利用者のニーズに応じた効果的な住宅改造の提案や相談・助言を行った。

(1) 重度障害者等住宅改造助成事業リフォームチーム開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
4/25	ラポールひらかた 特別会議室2	・24年度住宅改造助成事業事業報告 ・利用者の現況報告 ・住宅改造助成事業の課題について ・平成25年度募集要項の確認	5人
6/10	ラポールひらかた 特別会議室2	・利用者の現況報告 ・平成25年度後期利用者募集要項の確認について	4人
9/4	ラポールひらかた ミーティング ルーム1	・平成25年度住宅改造助成事業前期利用者報告 ・平成25年度後期利用者の進行状況について ・平成25年度住宅改造助成事業方針について	5人

(2) 改造助成の相談状況及び改造箇所について

(単位：件)

区 分	相談世帯	助成対象世帯	他制度を紹介
65歳以上	45	18	30
65歳未満	34	5	18
不 明	28	0	23
計	107	23	71

・不明は匿名相談のため、年齢の区分なし。他制度を紹介は住宅改修費及び用具給付等、公的な融資制度などを指す。また、助成金対象世帯であっても着工済み・予算枠の空きがない等の理由も含む。(個別支援に関する訪問稼働数延べ80回)

(単位：件)

区分	便所	浴室	玄関・ アプローチ	階段	廊下	台所	居室	洗面・ 脱衣所	その他	計
65歳以上	10	15	3	1	2	1	6	2	1	41
65歳未満	0	3	1	1	0	1	1	2	0	9
計	10	18	4	2	2	2	7	4	1	50

【改造内容】(合計：65歳以上ケース/65歳未満ケース 単位：箇所) ※改造箇所・内容については重複集計。

手すりの取り付け(13件：11/2)、段差解消(19件：15/4)、床材変更・床上げ(7件：5/2)、便器の洋式化・改善等(5件：5/0)、扉の変更・改善等(6件：6/0)、シャワーの設置・蛇口改善(7件：5/2)、浴槽改善等(15件：12/3)、段差解消機・昇降機設置(2件：1/1)

【アンケートの集計内容】

※利用者満足度 100% ※改造による効果 100%

11. 住宅支援給付事業

離職者であって就労能力及び就労意欲のある方で、住宅を失っている方または失うおそれのある方を対象として、原則3ヶ月間(最長9ヶ月間)、賃貸住宅等の家賃として住宅支援給付を支給するとともに、自立・再就職に向けた支援を行った。

* 相談一覧表

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	来所	20	22	5	8	11	8	10	7	4	5	12	16	128
	電話	4	5	4	4	12	4	10	5	8	1	1	8	66
決定件数		5	2	2	0	0	4	0	1	0	0	1	1	16
不決定件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援件数		77	74	67	70	45	21	30	31	36	21	18	17	507
中止件数		0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4

* 支給中止原因は、就職によるもの、生活保護の受給、または誓約事項違反による。

12. 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金（平成25年10月1日～平成26年3月31日）

自治会を窓口とした戸別募金、市内施設・病院等での募金箱の設置、法人募金・職域募金、学校募金等のほか、ボランティアグループ連絡会の協力を得て、京阪枚方市駅・樟葉駅周辺で街頭募金を実施した。また、今年度は関西外国語大学に協力を得て、文化祭にて街頭募金や啓発活動を行うことができた。

募金総額 9,893,778円

また、大阪府共同募金会より1,675,993円の配分があり、本会から枚方市内のボランティア活動・地域ダイケア事業に対し助成を行った。

(2) 地域歳末たすけあい募金の実施（平成25年12月1日～平成26年3月31日）（単位：円）

募金の部		配分の部		
地区募金	12,273,940	福祉活動助成事業	33件	640,000
			地域ダイケア	3件
団体募金	451,304	ひとり暮らし老人会運営助成	41件	2,465,711
		福祉団体活動助成	17件	510,000
		地域福祉活動支援助成事業	44件	2,199,936
		小規模災害助成（火災）	3件	80,000
		生活困窮者物資助成		18,675
		ボランティアグループ活動助成		224,007
		付帯経費		514,278
収入計	12,725,244	支出計		7,252,607

※今年度収支差額 5,472,637円は、次年度配分に繰り越す

13. 居宅介護等事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業と介護保険法による訪問介護事業、及び居宅介護支援事業を行った。

障害者を中心にホームヘルプ事業を展開しており、介護保険法によるホームヘルプ事業の占める割合は全体の約11.4%（昨年は12%）となっている。

ホームヘルプ事業及び居宅介護支援事業共に利用者の意思及び人格を尊重し、必要なサービスを提供した。

サービスの一層の充実を図るため、月1回のサービス提供責任者会議、月2回のヘルパー会議、月1回の介護実技実習及びヘルパー業務の見直しや環境の整備等を検討する業務改善委員会等を行い、ヘルパーのモチベーションの向上に努めた。また、今年度は公職選挙法や差別解消法の成立を歴て障害者権利条約が批准される年となったため、これらの研修を受講し、人権の大切さについて考えあう機会を持った。

事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。また、本会の役割のひとつとして事業所の持つ介護技術や障害者への支援についてのノウハウを広く市民に提供するため、他事業所の現任研修会や本会の会館事業の介護講習会に講師として職員を派遣した。

ホームヘルプ事業において、昨年度に引き続き介護職員等の処遇改善に係る加算により、契約職員の処遇改善を図ることが出来た。

昨年同様、介護職において全国的に確保出来ない現状が続いており、本会においても人員の確保に苦慮した。今年度の新規雇用はわずか4人で内2人のみ継続。退職ヘルパーは3人となった。そして、今年度は近年最もヘルパー数の少ない状況となり、人材の確保が最大の課題であった。

利用時間増及びヘルパーの減少により、正規職員の時間外を減らすことは出来なかった。また、メール配信システムを導入し、業務の効率化を図ると共に来年度以降の居宅介護事業の運営の改善を図る為、契約サービス提供責任者を1名増員した。

【利用者（契約）状況】

ホームヘルプ事業の新規契約者は18人（身体2人・難病1人・知的7人・精神3人・児童3人・介護保険2人）契約解除者は18人（身体4人・知的5人・精神3人・介護保険3人・児童3人）。3月現在の契約者は、全体で115人となっており、人数の増減は殆どない。今まで身体障害者が最も多かったが今年度は知的障害者が38人で最も多くなった。これは、家事援助や身体介護が増加したのではなく、従来ガイドヘルプで決定していた通院介助が、国の方針に添ってホームヘルプに変更された為、通院のみが必要な知的障害者(5人)の契約が増えたためである。居宅介護支援事業は、新規契約者4人、契約解除者5人、3月現在で、20人。介護予防は、解約者1人、3月現在6人となっている。ホームヘルプ事業の解約者の内訳は、介護保険への移行者3人、入所施設に移行5人、他市に転居2人、他事業者へ移行3人、死亡1人、児童から成人になり、本会のサービス利用者2人、入院1人、サービス提供が必要でなくなった人2人である。居宅介護支援事業では施設入所3人、死亡1人介護予防への移行1人。介護予防では要支援から要介護への移行2人となっている。

(単位：人)

()は介護予防ケース数

月	障害者総合支援法介護給付事業					介護保険	ホームヘルプ事業	介護保険
	居宅介護事業					訪問介護	合計	居宅介護支援事業 (介護予防)
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	難病			
4	36	34	7	22	1	14	114	22(6)
5	35	35	7	22	1	14	114	22(6)
6	34	37	7	22	1	14	115	20(7)
7	34	37	7	22	1	14	115	20(7)
8	35	37	6	22	1	13	114	19(7)
9	35	38	8	22	1	14	118	20(7)
10	33	38	8	21	1	14	115	20(7)
11	33	38	8	20	1	13	113	20(7)
12	33	37	8	20	1	13	112	20(6)
1	34	37	7	20	1	13	112	21(5)
2	34	38	8	20	1	13	114	20(5)
3	34	38	8	21	1	13	115	20(5)

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

【利用時間】

ホームヘルプ事業の利用時間については、月平均2703時間で、介護保険の利用時間が31時間

減、障害福祉サービスの利用時間が 50 時間増となり、トータルとして昨年度より月平均 18 時間増加した。理由として家族の高齢化、事故、死亡によるサービス時間や日数の増、通院ケースの増加によるもの等があげられる。

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間								合 計
	障害者総合支援法居宅介護事業 (身体・知的・児童)			通院介護		介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度訪問介護	身体介護		生活援助	身体	身体→生活	
伴う				伴わない					
4	595	1298.1	519.1	40.4	21.6	30.8	113.9	138.9	2757.8
5	592.3	1304.2	495.8	29.5	16.3	30	149.9	154	2772
6	591.8	1227.4	495.3	32.9	18.8	27.9	120	134.5	2648.6
7	638.8	1339.5	534.1	35	22.3	29	127.2	119.9	2845.8
8	601.6	1347	557.6	34.8	19.8	29.3	131.1	106.3	2827.5
9	580.3	1350.3	355.9	39.8	30.7	29	117.4	116.4	2619.8
10	578.2	1410.4	453.2	58	38.3	29.9	102.7	137.7	2808.4
11	548.9	1324.6	466.3	43.2	17.3	29.3	122.7	129	2681.3
12	571.3	1332.6	483.6	59.9	24.6	30	118.7	127.3	2748
1	538.8	1323.6	421.9	42.6	20.9	29	122.7	127.3	2626.8
2	494.7	1212.3	410.5	36.2	14.9	29.1	99.8	122.9	2420.4
3	534	1328.6	480.3	36.9	18	32	119.3	128.4	2677.5
合 計	6865.7	15798.6	5673.6	489.2	263.5	355.3	1445.4	1542.6	32433.9
月平均 利用時間	時間 2 7 0 3 時間 (自立支援によるホームヘルプ約 2 4 2 4 時間 介護保険によるホームヘルプ約 2 7 9 時間)								

【ホームヘルパー現任研修会】

月 日	場 所	内 容	出席数
9/15	ラポールひらかた 特別会議室 2	「在宅生活について」～当事者の立場から～ 講師：今滝 里沙氏	4 4 人
3/16	ラポールひらかた 特別会議室 2	「障害者の地域生活と計画相談支援」 ～マネジメントの方法、その実現、意義と課題～ 障害者自立生活センター・スクラム 姜 博久氏	3 2 人

14. 移動支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業(ガイドヘルプ事業)として余暇活動、施設や作業所及び地域活動支援センター・ショートステイ施設・入所施設への送迎等、利用者の意思及び人格を尊重し、多種多様なサービスを行った。

今年度は重点事項であったガイドヘルプのコーディネートの効率化を図るためメール配信システムを導入した。パソコンや携帯電話のメール機能を活用して事業所とガイドヘルパーの連絡を行うことで、時間的にも大幅に短縮され、情報の伝達がより正確なものとなった。

また、ガイドヘルパーの質の向上のため、現任研修会を 2 回開催し、多くの参加が得られた。共通のテーマに沿ってディスカッションを重ねることにより、他のガイドヘルパーの活動の状況や支援の様子を理解し、問題や課題を共有化することができた。

障害者自立支援法から障害者総合支援法へと法律が変わったが、支援の根幹である自己選択と自己決定により、本人の意思を聞き取り、ニーズに沿ったサービスを心がけた。コーディネイト業務を主軸とし、利用者からの相談、ガイドヘルパーへの指導、助言等をきめ細かく行った。また、ヘルパーの業務内容が外出支援であるため、手薄であった日曜日に月 2 回であるがサービス提供責任者を配置することでリスク管理を含めた緊急事態に対応できる体制を整えた。

月1回サービス提供責任者会議を実施し、ケース検討や派遣調整、待機ケースの課題等について話し合った。

移動支援事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているという観点から関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催した。

また、行政と事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の運営に参画し、会の企画・調整を行い、利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、会の中心的な役割を担った。

ガイドヘルパーの人材の確保については稼働していないヘルパーの活用を行なったが今年度についても、登録はしているが1年以上活動がない人について登録抹消を行い、291人の登録者について280人に整理した。若年層及び男性ヘルパーについては、活動出来るヘルパーの確保に努めたが、実際の稼働人数は40人程度にとどまっている。今年度も若年層等、幅広い実稼働できる人材の確保が課題であった。

【利用（契約）者状況】

移動支援事業では、新規契約者は5人(身体1・知的2人・児童2人)。解約者は4人でその内訳は死亡2人、ガイドヘルパーが不要となった2人となっている。3月現在、397人。そのうち、月平均、226人の契約者が利用しており、170人は、契約のみで利用には至っていない。本会への契約希望者も多く、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため 緊急の場合を除いて新たな契約者を制限しているが、少しずつ受け入れる努力もしている。3月末で14人が契約待機状態となっており、移動支援の利用のニーズの高さが伺える。また、精神障害の契約者はいないが、知的障害との重複者については知的障害者に含めている。

(単位：人)

月	移 動 支 援 事 業				合 計
	身体障害者	知的障害者	児 童	精神障害者	
4	16	347	31	0	394
5	16	348	31	0	394
6	16	348	30	0	394
7	17	348	29	0	394
8	18	348	28	0	394
9	18	350	28	0	396
10	18	350	28	0	396
11	18	351	28	0	397
12	18	353	26	0	397
1	18	353	26	0	397
2	18	353	26	0	397
3	18	353	26	0	397

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

【利用時間】

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1ヶ月の区切りで時間が制限されるのではなく3ヶ月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。今年度については5000時間を超える月が8回となった。総利用時間は、60472.8時間で月平均5039.4時間となった。昨年度と比較して月平均約163.6時間の増で昨年に引き続き著しい伸びとなった。ケアホーム入居者の利用や旅行の件数が増えたこと、また家族の疾病や高齢化のため家庭での介護が困難になった方々の利用によるものである。このように本事業については、年々ニーズが多様化し、なくてはならない支援となっている。

(単位：時間)

移動支援事業						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
4974	5103.5	5108.8	5145	5151.3	4942.5	5085.8
11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均利用時間
5321.8	5085.8	4773.3	4395	5386	60472.8	5039.4

【ガイドヘルパー現任研修会】

月 日	場 所	内 容	出席数
9 / 1 3	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「知的障害のある人の性について ～大切なあなたと私～」 思春期保健相談士 徳永 佳子氏	1 3 0 人
3 / 1 3 3 / 1 4	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「平成25年度在宅福祉課事業報告と ガイドヘルパーの意見交流会」	9 1 人 6 3 人

15. 総合福祉センター管理運営事業

指定管理事業の最終年の平成21～25年度（5年間）として、枚方市総合福祉センター管理運営事業を行った。老人福祉センターとしては、高齢者の健康と福祉の増進を図るため、生活及び健康に関する相談や趣味の講座の開催、ビリヤード等遊具の貸出を行った。市民福祉センターとしては、市民の文化教養等の活動と健康・福祉の増進を図るため、市民講座の開催や茶道の体験行事、世代間交流行事の開催、グラウンドゴルフや卓球の提供を行った。また、ロビーを活用したロビーコンサートでは多くの利用者が集い、センターの活性化に繋がった。

(1) 開所日数及び利用証発行件数

(単位：日、件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	24	26	307
利用証発行件数	890	215	81	96	33	53	123	229	53	62	53	33	1,921

※利用証発行内訳（高齢者 1,562、市民 202、作業所 157）

(2) 使用許可申請状況

(単位：件、人)

老人福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
大広間	418	8,891
機能回復訓練室	1,226	23,192
和室1	274	1,828
和室2	614	3,501
和室3		
会議室1	413	7,354
会議室2		
会議室3	461	4,052
会議室4		
浴室(男)	102	2,587
浴室(女)	102	2,578
図書室	614	909
体育室	1,667	38,815
1階ロビー	904	13,167
計	6,795	106,874

市民福祉センター		
室名	件数	利用者数(延)
講座室	539	18,187
料理教室	230	2,701
和室4	382	5,813
和室5		
和室6		
休憩室	10	481
会議室5	439	5,790
会議室6	456	7,110
茶室	105	939
2階ロビー	623	1,953
グラウンド	685	6,839
計	3,469	49,813

老人作業所		
室名	件数	利用者数(延)
老人作業室	543	4,929

(3) 講座・行事開催状況

(単位：日、人)

講座名	延開講数	延受講者数	講座名	延開講数	延受講者数
趣味の講座 水彩画講座①	10	166	市民講座 油絵講座①	10	113
〃 水彩画講座②	10	142	〃 油絵講座②	10	140
〃 民謡講座	10	178	〃 絵手紙講座①	10	166
〃 編み物講座	8	184	〃 絵手紙講座②	10	167
〃 すっきりストレッチ&健康運動①	10	239	〃 料理講座①	6	115
〃 すっきりストレッチ&健康運動②	9	208	〃 料理講座②	6	122
〃 ガンバルーン体操講座①	10	179	〃 ハワイアンフラ講座①	10	215
〃 ガンバルーン体操講座②	10	194	〃 ハワイアンフラ講座②	10	215
〃 自彊術(健康体操)講座(作業所)①	5	89	〃 シーサー作り	1	31
〃 自彊術(健康体操)講座(作業所)②	8	131	〃 トールペイント	1	21
介護・福祉・健康講座	3	124	計	167	3,139

行事名	開催日	参加者数	備考
世代間交流行事	8月6日	30	小学生16人・料理同好会等14人
文化体験行事	10月12日	215	趣味同好発表会に合わせ中庭で野点開催
ロビーコンサート	6月5日	60	キーボード演奏と歌のコンサート
	8月7日	70	
	10月2日	43	
	12月4日	50	
	2月19日	60	
	7月25日	68	キーボード演奏と歌と朗読のコンサート
	10月9日	55	
	3月6日	74	
	1月21日	56	ハーモニカ演奏のコンサート

(4) バス送迎状況

月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	月	送迎回数	送迎人数	
4	242	3,310	8	262	3,300	12	232	3,276	
5	262	3,451	9	240	3,539	1	232	3,149	
6	250	3,304	10	262	4,104	2	224	3,219	
7	252	3,554	11	252	3,617	3	250	3,486	
							計	2,960回	41,309人
福祉バス利用回数				利用人数		車いす			
合計				127		3,697		65	

(5) 老人福祉センター相談等事業

内容	実績	件数
生活及び健康に関する相談	生活相談(開設日307日)1人 なんでも相談(開設日12日)43人 健康相談(開設日307日)5,905人	5,949人
生業及び就労のための指導	開設日307日	0人
機能回復訓練の実施	ヘルストロン 延17,287人 健康体操(火～土曜日実施) 延4,187人	21,474人

(6) 運営委員会開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
3/26	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業報告について ・平成26年度事業計画について ・平成25年度利用者アンケート結果報告 ・枚方市総合福祉センターのリニューアルについて 	7人

(7) 啓発活動状況

*機関紙『ふれあいステーション』の発行

第82号2,185部(9/1)、第83号2,185部(2/1)を作成し、センター利用者・関係機関・団体・施設等に配布

*館内情報紙『センターだより』の発行 毎月発行 各500部

*各種事業の案内・・・社協だより、広報ひらかた、ホームページ等

*啓発用パンフレット配布・・・一般・関係機関

*同好会活動の活性化

- ・受付で、センターでの活動希望者に同好会活動を紹介
- ・同好会参加募集の依頼に応じ、掲示板で紹介

(8) その他実施状況

*利用者アンケート 1月7日～2月6日 協力者数1,158人

*接遇・人権研修 5月27日 *趣味同好発表会に協力 10月9日～13日

*自衛消防訓練 11月29日・3月20日

16. くすの木園(生活介護)管理運営事業

平成25年度の取り組みでは、地域住民との交流の機会を増やすことを重点目標に取り組んできた。2年前から取り組んできた野菜販売もスパバレイ枚方東での販売に加え、津田病院前駐車場でも販売を行う事ができた。また、くすの木園の利用者が地域で豊に暮らせるよう近隣事業所の利用者を園の行事に参加呼びかけや、5月から3ヶ月に渡り香里ヶ丘看護学校から実習生受け入れをする等、地域や学生との交流の機会を増やしてきた。

年間行事では、更なる安全確保をはかりながら、利用者の希望に添って行事の企画・内容等を見直してきた。なかでも年度末に行った宿泊研修会では昨年の問題点を踏まえて、ゆとりある時間を過ごせるよう行程や行き先の検討、開催日を2回に分けるなどの工夫をした。

施設設備については、大型壁かけテレビやビデオプロジェクターの購入、老朽化した作業機の入れ替え、多目的トイレに温水設備設置やドア、窓ガラスに飛散防止フィルムの施行、また、以前から検討課題となっていた雨天時の送迎バス乗降がスムーズかつ安全に行えるよう、隣接する施設敷地にバスを乗り入れできるようにする等、利用者が快適に過ごせるよう環境整備の充実を図った。

(1) 利用者状況 (平成26年3月31日現在・在所者36人)

(ア) 年齢別の状況

(単位：人)

年齢	20歳未満	20歳以上～ 25歳未満	25歳以上～ 30歳未満	30歳以上	計	平均年齢
男	1	5	11	7	24	27.3歳
女	0	5	4	3	12	28.5歳
計	1	10	15	10	36	27.7歳

(イ) 在所年数の状況

(単位：人)

	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	1	1	14	8	0	24
女	0	2	6	4	0	12
計	1	3	20	12	0	36

(2) 障害の状況

(ア) 療育手帳判定

(単位：人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	24	0	0	24
女	11	1	0	12
計	35	1	0	36

(イ) 障害程度区分

(単位：人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	3	4	7	10	24
女	0	0	2	4	0	6	12
計	0	0	5	8	7	16	36

(3) 月別在所者数・月別出席率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在所者数(人)	35	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
開所日数(日)	22	23	22	23	21	20	23	21	20	20	21	19
在所者数×開所日数(日)	770	803	792	828	756	720	828	756	720	720	756	684
延利用数(人)	732	750	748	785	691	664	754	700	658	657	643	611
出席率(%)	95.1	93.3	94.4	94.8	91.4	92.2	91.0	92.6	91.3	91.2	85.0	89.3

(年間開所日数 255日 年間平均出席率 91.8%)

(4) 年間行事の実施状況

月	日	行 事	保護者会	土曜開所
4	1	入園式・新年度事業説明会	4月1日	4月20日
5	15	保護者交流会	5月15日	5月11・25日
6	2	ふれあいフェスティバル(自由参加)	6月19日	6月15・22日
7	6	スポーツ交流会(保護者参加日)		7月20日
8	8	スポーツ交流会代休(職員管外研修)		
8	9	I期終業日		8月3・17日
		夏休み 8/12~15		
8	16	II期始業日/	8月21日	
	30	宿泊体験 8/30~8/31	(施設見学会)	9月14日
10	25	くすの木まつり準備(代休)	10月16日	10月5日
	26	第33回くすの木まつり		
11	7~	第1回 外出活動		
	18	11/7, 8, 11, 12, 14, 15, 18(全7回)		
	25, 26	参観日	11月20日	11月30日
12	15	ジョイフルクリスマス(自由参加)		
	20	クリスマスパーティー		
	26	II期終業日		12月7・21日
		冬休み 12/27~1/6		

1	7	Ⅲ期始業日	1月15日	1月11・25日
	27, 28	参観日		
2	1 2	第2回 外出活動Ⅰ班		2月1・22日
		1回目－宿泊研修会 2/27～28	2月21日	
3	3	第2回 外出活動Ⅱ班		
		2回目－宿泊研修会 3/6～7		
	1 1	第2回 外出活動Ⅲ班		
	1 3	第2回 外出活動Ⅳ班		
	2 6	年度末パーティー		
	2 7	Ⅲ期終業日		3月29日
		春休み 3/28、31		
	2 9	土曜開所		

(5) くすの木園運営懇談会の開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
2/26	枚方市立 くすの木園	・平成25年度の取り組みと今後の課題について ・利用者の活動ビデオ上映 ・利用者の意見発表	15人

(6) 作業収入集計表

(単位：円)

種類	牛乳パック	アルミ缶	箱折り	畳見本帳	もぎり	紙すき染紙	ふれあいコーナー	野菜販売	まつり売り上げ他	計
金額	11,928	123,060	52,312	81,200	33,960	75,000	25,400	81,800	149,195	633,855

* 作業収入から消費税及び地方消費税相当額を差し引いたものを本人支給費として、年間12回に分けて利用者に支給した。

(7) ボランティアの協力状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数	35	36	38	49	28	35	87	37	22	32	29	37	465

17. 共同生活援助・介護事業

「れいんぼう」「ひまわり」「コスモス」「たんぽぽ」の4カ所の運営を行った。ケアホームで快適な生活を送ることができるように一人ひとりの思いを尊重したホームの運営を目指した。

ケアホームの金銭管理のあり方を昨年度より検討し準備を行ってきたが、今年度4月から利用者の負担金を銀行振り替えにする等大幅な見直しを実施した。また福祉サービス利用援助事業の利用を進め、利用者7人が利用に繋がった。また、利用者1名に成年後見人の申請手続きを進めている。

ケアホーム利用者の高齢化に伴い安全に生活が営めるよう利用者の状況に合わせて居室のフローリング改修工事等住環境の整備を行った。

ケアホームのサービスの質の向上を目的として食事作りの世話人を夕方の時間帯に配置したが、人材の確保について難しい状況が続いたため、全日配置が課題になっている。また世話人の内部研修として担当外のケアホームの実習を実施したため、日中の時間帯や緊急時等の対応について担当外のホームにも勤務できるようになり、4カ所の世話人の連携の強化が図れた。

平成26年4月からケアホーム・グループホームの一元化等開始されるが、世話人の勤務内容や体制の見直し等図る必要があり、今年度はその検討や準備を行った。

「枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会」を中心に担い、枚方市内のケアホーム運営事業所と情報交換等により連携を深めると共に、ケアホームの推進について意見交換を行った。また市内世

話人を対象に「利用者の支援のあり方」と「応急手当について」をテーマにケアホーム・グループホーム世話人研修会を年2回実施し、多くの参加があり世話人の資質の向上を図ることができた。また、今年度については、より良いサービスの提供を目指して独自で利用者アンケートを実施し、利用者の意見を聞きとり問題点を把握して改善を図った。また、世話人にも、自己点検表アンケートを実施して一人ひとりの日常の仕事についての見直しを行い、支援の向上に努めた。

(1) 地域支援センターゆい世話人研修

項目	回数	人数	内容	場所
世話人初任者研修	2回	延べ2人	世話人の支援のあり方（現地実習）	各ケアホーム
世話人内部研修	69回	延べ251人	利用者の支援について個別支援計画等	各ケアホーム
世話人外部研修	2回	延べ22人	枚方市ケアホーム世話人研修会	ラポールひらかた

(2) 枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 世話人研修

月 日	研修内容(場所)	参加人数
11/26	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 ケアホーム・グループホーム世話人研修会 テーマ 「ケアホーム・グループホーム利用者の支援のあり方」 講師：社会福祉法人 ベデスダの家 中西 昌哉氏	87人
3/27	枚方市知的障害者福祉ネットワーク 生活部会 ケアホーム・グループホーム世話人研修会 テーマ「応急手当について」 講師：地域防災向上センター 岡市氏・入江氏	61人
合 計		148人

18. 障害者活動支援事業

障害のある人が社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を実施し障害のある人の自立と社会参加を図った。「ふれあいスポーツ交流会」では知的障害等のある人で構成される実行委員会を設立。実行委員長と副委員長を中心に会議の司会進行を進めることができた。実行委員会で協力し合いながら大会の企画運営を行い、実行委員同士や事業所間の交流を深めることができた。「ジョイフルクリスマス会」ではアトラクションとして音楽演奏やお笑いライブを催すなど、参加者の楽しめるバリエーション豊かなプログラム構成で実施できた。

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内容
ふれあいスポーツ交流会 (障害のある人)	年1回 7/6	382人	79人	レクリエーション行事 枚方市立総合体育館
	実行委員会 計6回	実行委員11人		実行委員会参加団体 11団体
ジョイフルクリスマス会 (障害のある人)	年1回 12/15	109人	6人	レクリエーション行事 メセナひらかた

19. 父子家庭日常生活支援員派遣事業

父親が就労等により不在のため、円滑に日常生活を営むことに支障がある父子家庭に対し、父子家庭生活支援員を派遣して、父子家庭の生活向上を目指す事業であるが、今年度について、相談ケースは3件ほどあったものの利用要件にあわず支援に至らなかった。

20. 地域包括支援センター事業(第1圏域・第2圏域)

本会は、市内の地域包括支援センター13カ所の内、第1圏域(社協こもれび)と第2圏域(社協ふれあい)を担当し、要支援の利用者プラン作成、二次予防高齢者への地域支援事業のほか、介護支援専門員や介護保険事業所の後方支援や医療・介護施設のネットワーク、権利擁護・成年後見・高齢者虐待対応、地域社会資源の開発やネットワーク化に取り組んでいる。

平成24年度に引き続き平成25年度も重点事項としている「小学校区ごとに地域ケアに関する懇談会(ケア会議)の開催」について、社協こもれびでは、圏域内の樟葉・樟葉南・樟葉北校区において個別ケースの検討や地域課題を共有する地域ケア会議を開催、社協ふれあいでは、樟葉西校区「樟葉西地域ケア懇談会」、牧野校区「牧野地域ケア懇談会」をそれぞれ3回ずつ開催し連携を深めた。その結果、民生委員や府営住宅管理センター、介護保険事業所等からの相談や連絡が増え、埋もれていた支援を必要とする高齢者の発見に繋げることができた。また、「高齢者見守り110番」については、地域の店舗等に加え、医療機関も要援護者の見守り活動に参画し、支援を必要とする方の早期発見・対応の拡大を図った。

昨年に引き続き、医師と介護支援専門員の懇談会をクリニックの待合室で、民生委員と介護保険事業所職員との懇談会を地域の集会所などで実施した。

また、平成25年度から地域包括支援センター聖徳園を加えた3圏域合同でつくる「くずは地域懇談会(地域ケア会議)」は今年6年目を迎え、「気になることありませんか事業」を継続して実施し、要援護者の発見に寄与した。3月のイベントでは、「孫と上手につきあうには？」のパネルディスカッションを行う等、くずは地域の活性化と地域連携の強化を図った。

その他、「高齢者元気はつらつ健康づくり事業」「出前教室・講座」として、地域に出向き、介護予防や権利擁護、成年後見・任意後見制度の講話、認知症サポーター養成講座を継続して実施した。

(1) 介護予防プラン作成

①要支援者

第1圏域(社協こもれび)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	158	164	167	162	159	160	158	160	161	158	163	168	1938人
委託	93	92	92	96	94	91	100	100	96	97	96	98	1145人
月計	251	256	259	258	253	251	258	260	257	255	259	266	3083人

第2圏域(社協ふれあい)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	138	142	142	145	149	148	149	149	153	148	140	137	1740人
委託	117	118	120	122	123	128	134	131	133	134	141	141	1542人
月計	255	260	262	267	272	276	283	280	286	282	281	278	3282人

②二次予防事業対象者

第1圏域(社協こもれび) 介護予防プラン調査分 9件

第2圏域(社協ふれあい) 介護予防プラン調査分 12件

(2) 総合相談

第1圏域(社協こもれび)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	100	68	65	87	88	75	67	56	96	58	59	89	908件
来所	26	34	19	31	30	25	23	21	31	45	26	27	338件
訪問	7	8	8	11	17	9	6	11	3	5	16	7	108件
その他	6	5	2	4	11	4	7	8	8	5	5	6	71件
月計	139	115	94	133	146	113	103	96	138	113	106	129	1425件

*新規・継続を含めた件数。

第2圏域(社協ふれあい)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	150	76	104	108	109	83	128	130	190	134	126	306	1644件
来所	28	24	23	40	40	28	24	23	28	20	19	36	333件

訪問	11	23	28	14	21	17	19	31	12	12	22	28	238 件
その他	3	3	1	4	9	5	8	2	4	5	7	4	55 件
月計	192	126	156	166	179	133	179	186	234	171	174	374	2270 件

*新規・継続を含めた件数。

(3) 各種事業の実施

①介護予防普及啓発事業

(高齢者元気はつらつ健康づくり事業)

第1圏域(社協こもれび)

月 日	場 所	内 容	参加人数
10/18	楠葉野会館	心と身体の健康講座(体力測定)	26 人
11/8	楠葉野会館	心と身体の健康講座(音楽で介護予防)	29 人
12/6	楠葉野会館	心と身体の健康講座(体力測定の結果と体操)	23 人
10/23	北楠葉自治会館	心と身体の健康講座(体力測定)	13 人
11/27	北楠葉自治会館	心と身体の健康講座(音楽で介護予防)	8 人
12/20	北楠葉自治会館	心と身体の健康講座(体力測定の結果と体操)	8 人
10/24	楠葉朝日美咲集会所	心と身体の健康講座(体力測定)	20 人
11/15	楠葉朝日美咲集会所	心と身体の健康講座(音楽で介護予防)	18 人
12/17	楠葉朝日美咲集会所	心と身体の健康講座(体力測定の結果と体操)	16 人

第2圏域(社協ふれあい)

月 日	場 所	内 容	参加人数
5/31	センチュリー4番館集会所	認知症予防教室「笑いヨガ」	31 人
7/8	牧野生涯学習市民センター	認知症予防教室「トーンチャイム」	35 人
7/31	楠葉生涯学習市民センター	口腔機能向上教室「お口元気塾」	7 人
10/7	センチュリー6番館集会所	認知症予防教室「トーンチャイム」	26 人
11/14	枚方市市民交流センター	男性向け料理教室「魚を使った和食」①	5 人
12/11	枚方市市民交流センター	男性向け料理教室「魚を使った洋食」②	9 人
12/19	牧野生涯学習市民センター	認知症予防教室「笑いヨガ」	15 人
1/17	枚方市市民交流センター	男性向け料理教室「魚を使った中華」③	6 人
2/3	楠葉生涯学習市民センター	腰痛予防教室	18 人
2/21	楠葉生涯学習市民センター	栄養改善と運動「ガンバルーン体操」	13 人
3/27	楠葉生涯学習市民センター	男性向け料理教室	7 人

ハートフルタイム(第1圏域 社協こもれび)

7/25	楠葉生涯学習市民センター	ピアノ伴奏と合唱	101 人
2/20	楠葉生涯学習市民センター	ピアノ伴奏と合唱	92 人

②地域ケア会議・事業所懇談会等

くずは地域懇談会(第1圏域 社協こもれび・第2圏域 社協ふれあい共通)

月 日	場 所	内 容	参加人数
5/30	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第1回役員会	6 人
7/4	楠葉生涯学習市民センター	第1回くずは地域懇談会	21 人
10/4	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第2回役員会	6 人
10/31	楠葉生涯学習市民センター	第2回くずは地域懇談会	21 人
1/16	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第3回役員会	5 人
2/18	楠葉生涯学習市民センター	第3回くずは地域懇談会	16 人
3/18	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会 第4回役員会	7 人
3/30	楠葉生涯学習市民センター	くずは地域懇談会企画イベント テーマ「孫と上手につきあうには？」 午前の部：認知症サポーター養成講座	25 人

		午後の部：孫と上手につきあうには？最近の子どもたちは？（パネラーと参加者とのディスカッション形式で学びます）	25人
--	--	--	-----

第1圏域（社協こもれび）

月 日	場 所	内 容	参加人数
4/13	樟葉南小学校	樟葉南校区民生委員との懇談会	13人
4/25	社協こもれび	樟葉校区民生委員との懇談会	10人
5/18	社協こもれび	地域ケア会議（個別ケース・樟葉北）	13人
5/20	社協こもれび	居宅介護事業所との懇談会	11人
5/23	社協こもれび	樟葉北校区民生委員との懇談会	7人
5/24	社協こもれび	訪問介護事業所との懇談会	13人
6/12	社協こもれび	男山病院地域医療連携室と居宅介護事業所との懇談会	14人
7/22	くずは美郷	通所介護事業所懇談会	10人
9/4	楠葉生涯学習市民センター	樟葉南校区地域ケア会議	38人
10/8	社協こもれび	地域ケア会議（個別ケース・樟葉北）	9人
10/17	社協こもれび	訪問介護事業所懇談会	14人
11/20	楠葉病院	地域ケア会議（個別ケース・樟葉）	9人
12/16	楠葉生涯学習市民センター	樟葉校区地域ケア会議	44人
12/26	楠葉生涯学習市民センター	樟葉北校区民生児童委員会議	8人
3/13	社協こもれび	訪問介護事業所懇談会	16人
3/20	楠葉病院	待合室懇談会	18人

第2圏域（社協ふれあい）

月 日	場 所	内 容	参加人数
5/16	社協ふれあい事務所	平成25年度第1回事業所懇談会（居宅）	11人
6/13	社協ふれあい事務所	平成25年度第2回事業所懇談会（訪問介護）	10人
7/12	牧野アスティー	平成25年度第1回牧野地域ケア懇談会	36人
7/18	メディケアモールふれあいホール	平成25年度第1回樟葉西地域ケア懇談会	27人
9/12	社協ふれあい事務所	平成25年度第3回事業所懇談会（居宅）	13人
10/8	メディケアモールふれあいホール	平成25年度第2回樟葉西地域ケア懇談会	26人
10/17	社協ふれあい事務所	平成25年度第4回事業所懇談会（訪問介護）	10人
11/15	牧野アスティー	平成25年度第2回牧野地域ケア懇談会	36人
2/12	メディケアモールふれあいホール	平成25年度第3回樟葉西地域ケア懇談会	23人
3/14	牧野アスティー	平成25年度第3回牧野地域ケア懇談会	27人
3/14	牧野アスティー	平成25年度第5回事業所懇談会（全体）	6人

③地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

第1圏域（社協こもれび）

月 日	場 所	内 容	参加人数
4/4	二ノ宮公園	北寿会	23人
4/12	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	16人
4/16	楠葉野会館	樟葉校区いきいきサロン	85人
4/16	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	31人
5/10	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	17人
5/11	枚方市駅中央改札南広場	看護フェスタ 認知症相談コーナー	43人
5/21	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	25人
6/1	関西医科大学教室	認知症サポーター養成講座	84人
6/3	楠葉生涯学習市民センター	認知症サポーター養成講座	42人

6/14	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	23人
6/18	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	32人
7/10	ラポールひらかた	認サポスキルアップ講座（高齢者大学OB枚方支部）	21人
7/12	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	37人
7/16	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	35人
7/18	野田区公民館	和楽会	20人
8/9	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	44人
8/20	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	6人
9/12	ラポールひらかた	認知症サポーター養成講座	73人
9/13	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	34人
9/17	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	19人
10/11	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	67人
10/15	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	20人
11/6	楠葉野会館	認知症サポーター養成講座	29人
11/8	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	65人
11/19	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	20人
12/13	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	60人
12/17	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	18人
12/23	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェクリスマス	90人
1/10	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	47人
1/14	中之芝自治会館	悠友会	27人
1/21	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	30人
1/31	北楠葉自治会館	樟葉北校区ひとり暮らし高齢者新年懇親会	70人
2/14	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	45人
2/18	楠葉生涯学習市民センター	くずはサロン	28人
3/14	楠葉朝日美咲集会所	あさみカフェ「ライフサポートよろず相談会」	40人
3/18	楠葉朝日美咲集会所	くずはサロン	25人

※「男性介護者のつどい」（4/17、8/21、10/16、12/18、2/19）延べ9人参加

第2圏域（社協ふれあい）

月 日	場 所	内 容	参加人数
4/17	センチュリー	「ふれあいサロン」出前相談（相談3件）	10人
5/26	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談12件）	100人
6/5	センチュリー	「ふれあいサロン」出前相談（相談2件）	10人
6/23	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談8件）	100人
7/14	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談2件）	70人
8/25	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談10件）	50人
9/8	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談9件）	40人
10/27	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談7件）	50人
11/24	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談10件）	60人
11/27	楠葉並木集会所	出前講座「健康講座」楠葉並木睦会	18人
12/8	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談2件）	100人
1/26	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談7件）	65人
2/23	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談10件）	70人
3/9	牧野北団地第1集会所	牧野北団地「いっぷく亭」出前相談（相談6件）	66人

④実習生の受け入れ

第1圏域（社協こもれび）7人 第2圏域（社協ふれあい）6人

(4) 地域密着型サービスの運営推進会議出席

第1圏域（社協こもれび）

グループホーム「はる」運営推進会議に出席（6回）

小規模特別養護老人ホーム「くずは美郷」の運営推進会議に出席（5回）

グループホーム「くずは丘」運営推進会議に出席（1回）

第2圏域（社協ふれあい）

グループホーム「のぞみ」の運営推進会議に出席（4回）

小規模多機能ホーム「まきの美郷」の運営推進会議に出席（5回）

(5) 地域包括支援センター関係者会議出席

市内13か所の地域包括支援センターの事業実施を円滑に推進するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会が定例で開催され、担当者が出席した。また、枚方市地域包括支援センター運営等審議会や地域ケア推進実務者連絡協議会に出席し、包括の活動報告等を行った。また、近隣市との連携を図るため、枚方市・京田辺市・八幡市地域包括支援センター担当者合同連携会議に出席した。

21. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業

市内全域にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、①地域福祉の計画的推進への支援②セーフティネット体制づくり③要援護者に対する見守り・相談④地域住民活動のコーディネート、企画・立案機能の強化に取り組んだ。

特に、地域における高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を必要とする人、またはその家族・親族等の支援や事業啓発を行うとともに、身近な所で気軽に相談できるよう、「出張相談会」の開催の拡充を図った。また、民生委員・児童委員の地区委員会や、校区福祉委員会が開催するサロン等に出席し、地域団体・専門機関と連携を図りながら、要援護者の地域福祉の向上と自立生活の支援のための基盤づくりを進めている。

25年度の相談では、精神障がい者に関する相談の割合が高くなる傾向が見られた。CSWの啓発事業として、地域住民を対象に、「障がい者」、「人権」、「家族との絆」をテーマとした映画会を開催した。

(1) CSW事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

①CSW配置促進事業連絡会（枚方市・枚方市社会福祉協議会・枚方人権まちづくり協会）の開催12回

②CSW事例検討会の開催5回

③枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議への参加

（枚方警察署、枚方保健所、枚方寝屋川消防組合、枚方市地域包括支援センター、枚方市いきいきネット相談支援センター、枚方市高齢社会室）

④枚方市障害福祉サービス事業者連絡会への参加

⑤地域ケア会議への参加

⑥ひきこもり枚方地域ネットワーク会議への参加

⑦府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

(2) 要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

① 相談件数について
(北・中・南・東部)

相談対象者	延べ件数	件数	相談者数	
高齢者	3 5 6	2 1 8		
(うち) 1人暮らし高齢者	(2 1 2)	(1 0 8)		
(うち) 高齢者のみの世帯	(1 4 4)	(1 1 0)		
障害者	5 7 4	1 6 5		
(うち) 身体障害者	(7 7)	(2 2)		
(うち) 知的障害者	(7 2)	(3 2)		
(うち) 精神障害者	(4 2 5)	(1 1 1)		
子育て中の親子	1 4 2	9 3		
一人親家庭の親子	5 3	2 2		
青少年	4 4	1 3		
DV被害者	1 5	6		
ホームレス	5	4		
外国人(中国帰国者を含む)	5	2		
その他	1, 7 3 6	5 7 6		
合 計	2, 9 3 0	1, 0 9 9		7 1 3

*内容別(重複該当含む)

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	5 3 4	3 0 8
生活に関する身近な相談	4 6 2	2 7 1
健康・医療に関する相談	2 4 7	1 0 0
生活費に関する相談	2 6 9	1 2 8
就労に関する相談	1 2 3	4 9
財産管理・権利擁護に関する相談	9 7	3 5
消費者被害に関する相談	3 6	1 3
多重債務に関する相談	1 9	1 1
DV・虐待に関する相談	3 1	1 5
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	8 6 0	4 2 4
住宅に関する相談	4 3	2 4
子育て・子どもの教育に関する相談	1 4 3	9 1
その他	4 5 5	1 8 3
合 計	3, 3 1 9	1, 6 5 2

②グループホーム各地区連絡会に参加

③ケース検討会等を随時開催

(3) 広報・啓発活動

①CSW事業の啓発を目的に出張相談会を開催

- ・校区で開催するサロンで、定例相談コーナーを設置。
- ・枚方宿くらわんか五六市にて、CSW事業の啓発コーナーを設置・・・毎月第2日曜日に実施。
- ・いきいきネット相談支援センター・総合福祉センター・地域包括支援センター共催による介護・福祉・健康講座を開催。(年3回 5月、11月、2月)
- ・社協だよりにPR記事掲載

- ・各校区福祉委員会発行の広報紙にCSWのPR記事を掲載
- ・活動報告、チラシ、パンフレット等の配布

②映画会

月 日	場 所	内 容	出席数
12/5	メセナひらかた	(作品名) 「ニワトリはハダシだ」 知的障がいのある少年を主人公に、障がいや人権、家族との絆などをテーマとした作品を上映することで、地域住民に「福祉」について考えてもらう機会を提供し、「福祉」に対する興味・関心の拡大を図るとともに、CSW事業に関する資料等を提供し啓発を行った。	103人

22. 地域活動支援センター事業

「地域支援センターゆい」は障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターⅠ型事業や障害者相談支援事業、日中一時支援事業等を実施した。

地域活動支援センター事業では日中活動（創作活動・生産活動・サロン等）を行った。創作活動は地域のボランティアに講師を依頼し手芸教室や手話等の講座も実施した。特に今年度は利用者のニーズに合わせてレクリエーション企画（そうめん流し・餅つき大会・銭湯体験等）を新規に開催して活動内容の充実を図ることができ、参加者が増えてきている。サロンは常時開催しているので、利用者やボランティア等市民の憩いの場としてセンターが有効活用され、サロンの活動を通しての相談も増えた。

今年度は当事者が参加する学習会や施設職員関係の研修会の開催を重点項目にあげた。学習会では、新たな取り組みとしてグループ討論形式の「しゃべくりゆい」を開催し「私の得意なこと苦手なこと」をテーマに話し合い参加者に好評であった。また研修会は「枚方市知的障害者福祉ネットワーク」主催として施設職員対象に年2回、市内ケアホーム世話人対象に年2回実施して市内の障害関係事業所の質の向上を図ることができた。

「自立支援協議会」や「枚方市知的障害者福祉ネットワーク」等に参加し市内の福祉サービスの現状と課題について情報交換等を行い、枚方市障害福祉室や市内福祉サービス事業所等と連携の強化を図った。特に今年度は、枚方市・自立支援協議会主催の「ほっこりひらかた」において、3障害全体のわたしの主張や講演会、模擬店など実施し、障害のある人について広く市民に啓発活動を行った。障害者相談支援事業では障害のある人の生活全般の相談を受けた。障害種別でみると知的障害のある人の利用が最も多かった。内容については権利擁護や引きこもり、難病に関する相談など年々多様化しており、関係機関や地域住民との連携強化を図りながら利用者や家族のニーズに沿った支援を行った。相談方法は来所や電話による相談だけではなく内容に応じて自宅訪問や医療機関等への同行支援も行った。昨年度に比べ、大幅に相談件数が増加し、相談についてニーズの高さが伺える。

日中一時支援事業は定期的に利用する利用者以外に不定期利用者のニーズにも応えて対応した。

今年度日中一時支援事業利用者とセンター利用者と合同で映画鑑賞会や壁画制作に取り組み、幅広い年齢層の活動が実施できた。

【地域活動支援センター事業 Ⅰ型】

	基 礎 的 事 業			Ⅰ 型 事 業		
	創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び地域との連携のための調整	地域住民・ボランティア育成	障害に対する理解促進を図るための普及活動
合計	1,096人	188人	5,727人	77回	681人	13回

【ジョイジョイサークル活動・当事者の集い】

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内 容
ジョイジョイサークル (月1回開催。市内在住・就労の知的障害のある人を対象にレクリエーションを中心としたサークル活動)	4月	25人	2人	花見・ミーティング* (年間計画)
	5月	23人	4人	バーベキュー (男山)
	6月	22人	0人	ミーティング (旅行について)
	7月	8人	2人	スポーツ交流会参加
	8月	20人	0人	ミーティング (旅行について)
	9月	25人	6人	一泊旅行 (城崎温泉方面)
	10月	19人	1人	ミーティング (外出について)
	11月	26人	4人	外出 (京都水族館)
	12月	21人	2人	ジョイフルクリスマス会参加
	1月	25人	3人	私の主張・新年の集い
	2月	24人	5人	カラオケ
	3月	23人	0人	お花見 (大阪城公園)
	ほっこりひらかた	年1回 (12月7日)	50人	20人
学習会	年2回 (10月・3月)		10人	
合計 (延べ人数)		311人	59人	

【地域支援センターゆい勉強会】

	参加者数
平成25年10月16日 (日) テーマ「食事と運動による すばらしい体型作り」 場所：ラポールひらかた	31人
平成26年3月10日 (月) テーマ「学習会 しゃべくりゆい」 場所：地域支援センターゆい	12人

【日中一時支援事業】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	14	11	12	17	24	12	17	19	19	16	15	25	201

【障害者相談支援事業】

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
合計	604人	43人	512人	450人	15人	1,044人

	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
合計	92人	141人	68人	195人	27人	44人
相談総のべ人数						3,235人

23. 乳児家庭全戸訪問事業

市内に在住する生後4カ月までの乳児のいる家庭を対象に、有資格者または子育て支援活動の経験がある訪問員が全戸訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行う。同時に、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげるなど、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、乳児家庭全戸訪問事業を実施した。

(1) 訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
出生者数	260	271	250	224	273	256	292	289	303	254	244	271	3,187
訪問家庭数	210	207	180	159	213	184	226	214	218	200	198	188	2,397

*訪問家庭数は、新生児家庭訪問の実施世帯等を除いたものとなっています。

(2) 訪問員について

- ・訪問員数 54人（平成26年3月31日現在）
- ・訪問員の要件 ①保育士等の有資格者 ②子育て支援活動の経験のある者
①②の条件を満たした上で、確実にケースを担当できる者および年3回の研修に出席することができる者

(3) 訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に実施した。

月日	場所	内容	出席数
5/24	ラポールひらかた大研修室	・保健センターより報告 ・グループワーク 「訪問時に拒否的な対応を受けたときについて」	31人
9/9	ラポールひらかた大研修室	・ワークショップ：場面を設定しロールプレイで再現。 各場面の対処や対応の可能性を検討する。 講師：龍谷大学短期大学部 こども教育学科 教授 中根 真 氏	28人
3/18	ラポールひらかた大研修室	・講演テーマ：「記録の書き方について」 講師：龍谷大学短期大学部 こども教育学科 教授 中根 真 氏 ・関係機関からの情報提供	45人

※訪問員交流会（綿毛の会）年9回開催

(4) 運営会議・ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課（子育て支援室・家庭児童相談所・保健センター）が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に毎月開催。

開催日：4/4, 5/8, 6/4, 7/4, 8/1, 9/3, 10/3, 11/6, 12/4, 1/8, 2/3, 3/5

(5) 相談員の設置

訪問時に作成する訪問個表の提出期間中等に、相談員として保育士資格者を1人配置し、訪問員に助言や指導を行う。年間40日間実施。

24. 総合福祉会館管理運営事業

(1) 総合福祉会館の管理・運営

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、部屋の貸し出しを行い、市民活動やボランティア活動の支援を行った。

①開館日数 (単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	27	30	347

②部屋別利用状況

ア) 有料室

(単位：件)

室名	午前	午後	夜間	合計	利用率(%)
研修室1	212	295	140	647	62.2
研修室2	231	273	154	658	63.2
研修室3	254	295	196	745	71.6
研修室4	220	301	145	666	64.0
集会室	246	300	157	703	67.5
和室	201	276	122	599	57.5
大研修室	253	311	114	678	65.1
保育室	177	190	31	398	38.2
作業室	110	139	34	283	27.2
日常生活訓練室	136	125	46	307	29.5
合計	2,040	2,505	1,139	5,684	54.6

*利用率=利用回数/(開館日数(347)×3)×100

イ) 無料室

(単位：件)

室名	午前	午後	夜間	合計	利用率(%)
ミーティングルーム1	275	292	203	770	74.0
ミーティングルーム2	256	285	198	739	71.0
ミーティングルーム3	306	294	82	682	65.5
福祉団体共用ルーム	221	251	185	657	63.1
福祉情報制作室	190	108	21	319	30.6
録音室	13	25	1	39	3.7
合計	1,261	1,255	690	3,206	51.3

*利用率=利用回数/(開館日数(347)×3)×100

ウ) 施設見学受入状況

(単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3
人数	0	0	0	0	0	0	42	0	0	96	0	0	138

エ) 登録団体の状況

登録団体数	148団体
-------	-------

内、障害者団体 77団体、ボランティア団体 64団体、その他団体 7団体(法人団体等)

オ) 温水プール事業

a) 開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	24	26	25	25	26	25	25	25	23	0	9	26	259

b) 利用者の状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
大人	1303	1411	1805	2240	2520	1927	1590	1264	1072	0	291	1263	16,686
子ども	291	315	588	933	974	407	220	199	204	0	53	352	4,536
高齢者	1443	1519	1493	1923	1981	1562	1520	1416	1232	0	474	1436	15,999
障害者	1803	1993	2095	2509	2674	2347	2042	1881	1616	0	515	1817	21,292
合計	4840	5238	5981	7605	8149	6243	5372	4760	4124	0	1333	4868	58,513

c) 利用者別利用率

	大人	子ども	高齢者	障害者	合計
人数(人)	16,686	4,536	15,999	21,292	58,513
利用率(%)	28.5	7.8	27.3	36.4	100

d) 水泳教室開催状況

教室	開催日程	開催日数	参加者延べ人数
障害者水泳教室	5月15日～6月26日	7日	75組124人
	9月11日～10月23日	7日	67組109人
	11月6日～12月18日	7日	70組104人
	2月26日～4月9日	7日	62組92人
障害児親子水泳教室 (幼児)	5月17日～6月28日	7日	63組126人
	9月13日～10月25日	7日	88組176人
	11月8日～12月20日	7日	66組132人
	2月21日～4月11日	7日	37組74人
障害児親子水泳教室 (小・中・高校生)	5月18日～6月29日	7日	99組198人
	9月7日～10月19日	7日	96組192人
	11月2日～12月21日	7日	83組166人
	2月22日～4月5日	7日	106組212人
高齢者 初心者水泳教室	5月15日～6月26日	7日	113人
	9月11日～10月23日	7日	125人
	11月6日～12月18日	7日	112人
中高齢者 中級水泳教室 (クロール・背泳ぎ)	5月17日～6月28日	7日	81人
	10月28日～12月16日	7日	126人
中高齢者アクア ウォーキング教室	5月16日～6月27日	7日	201人
	9月12日～10月24日	7日	216人
	11月7日～12月19日	7日	209人
	2月27日～4月10日	7日	189人
中高齢者 水中体操教室	5月16日～6月27日	7日	199人
	9月12日～10月24日	7日	216人
	11月7日～12月19日	7日	192人
一般初心者水泳教室	5月13日～6月24日	7日	36人
合計		175日	3,720人

③福祉図書コーナーの運営

ラポールひらかた4階の福祉図書コーナーに、福祉関係図書4,629冊、ビデオ約897本、DVD118本、その他関係資料を設置し、市民が自由に閲覧・視聴できるように管理運営を行っている。

また、地域福祉情報の拠点として、福祉情報の収集・整理を行い、適切に市民に提供できる体制づくりを進め、市民から寄せられる多岐にわたる福祉情報に関する相談・質問に応じた。

- *開所日時 月曜日～日曜日（第2日曜日、年末年始は休室） 午前9時～午後5時30分
 - *現在登録者数 624人
 - *おはなしサロン（6/24、9/25、12/18、3/19）
 - *第25回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル（10/27）
 - *第3回ひらかた社協ふくしフェスティバル（11/16）
 - *啓発事業
 - *手話入門教室
 - *体験教室（アイマスク・白杖・点字）
- （ラポール福祉講座で詳細掲載）

*コーナー利用状況

開所日数	来所者数
347日	11,901人

*ライブラリー利用状況

登録者数（新規）	書籍貸出数	ビデオDVD貸出数
181人	2,655冊	28本

*相談利用状況（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

来所相談件数	電話相談	相談総数
261件	64件	325件

④車いす貸し出し状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出台数（台）	47	39	60	43	58	48	156	132	28	71	34	64	780
貸出件数（件）	21	20	29	25	22	20	30	28	14	17	15	22	263

*車いす総保有台数 25台（自走車20台、介助車5台）

⑤各種相談事業の開催

*ふくし相談

高齢者の介護や障害を持つ方の生活問題等、福祉全般の相談に応じた。

- ・相談日時 毎週月曜日 午後1時～4時
- ・相談員（福祉相談員）1人
- ・開設日数 43日
- ・相談件数 23件

*会館相談

- ・相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時30分
- ・相談員（会館職員）
- ・開設日数 244日
- ・相談件数 67件

*心の健康相談

心の健康に関するさまざまな問題や不安等の悩みについて、精神保健福祉士及び臨床心理士が面接相談に応じた。

- ・相談日時 毎週金曜日 午後1時～4時
- ・相談員 2人
- ・開設日数 50日
- ・相談件数 61件

*父子家庭相談員設置事業

父子家庭が日常生活において直面する家事・育児・教育・経済問題などに対して、必要な情報提供、社会資源の活用など適切な助言を行い、父子家庭の福祉の増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相談内容
8人	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・父子家庭での子育てについて ・生活問題、生活上の悩みについて

*要介護老人家族の相談員設置事業

寝たきりや認知症高齢者を介護する方の日常生活に直面する課題に対して、社会資源の活用など適切な助言を行い、要介護老人とその家族の福祉増進を図ることを目的に相談に応じた。

相談員数	相談件数	相談内容
12人	2,512件	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の介護の悩みについて ・介護技術、介護用品、福祉サービスの利用等について

⑥各種事業の開催

*ラポール福祉講座

月 日	内 容	参加者数
5/31 6/7 14	◎いきいき講座 歌体操教室 (全3回) 「リズム・歌に合わせて体操」 講 師：いきいき歌体操HAND 吉岡 京子 氏 他	23人 26人 22人
7/28	◎父と子の料理教室 講 師：枚方市健康づくり食生活改善協議会 田畑 卿子 氏 他	20人
9/24	◎子育て応援講座 (わくわく教室・全5回) 子どもと遊ぼう!① (手遊び) 講 師：保育士 竹内 香都 氏 深見 佳子 氏	11組
10/1	子どもと遊ぼう!② (読み聞かせ) 講 師：保育士 竹内 香都 氏 深見 佳子 氏	8組
10/15	プチ勉強会「食育について」 講 師：栄養アドバイザー「萌」 濱上 和代 氏 他	10組
10/22	調理実習「バランスのとれた食事」 講 師：栄養アドバイザー「萌」 濱上 和代 氏 他	13組
10/29	座談会 講 師：保育士 竹内 香都 氏 深見 佳子 氏	11組
10/7	◎「子どもの応急手当」講座 (幼児安全法短期講習会) 「子供がケガや病気をしたときの対処、応急手当」 講 師：日本赤十字社大阪府支部 浜辺 弘子 氏	19人
2/17	◎災害に備える心得講習会 (災害時高齢者支援講習会) 「災害時における対処法を紹介、有事に備える」 講 師：日本赤十字社大阪府支部 和田野 元美 氏	20人
3/27	◎ホームヘルパーおさらい講座 「就労につながらない方の、不安な部分の解消や初歩的な実技をおさらい」 講 師：枚方市社会福祉協議会 在宅福祉課 川上 雅英	7人

(福祉図書コーナー啓発事業)

月 日	内 容	参加者数
7/31	「親子福祉体験教室」 「当事者の話やアイマスク、白杖、点字等の体験を行う」 講 師：図書コーナースタッフ	2組 (4人)
2/20 27	「手話講習会」 「簡単なあいさつや、これから手話を習いたいという方への入門編」 講 師：図書コーナースタッフ	14人 14人

*ラポール市民講座

月 日	内 容	参加者数 (延べ)
5/14~ 7/2	太極拳教室 8回 講 師：大阪武術太極拳連盟 普及指導員 松井 治三郎 氏	202人
5/24~ 7/12	ヨガ連続講座 8回 (夜間) 講 師：NPO法人日本YOGA連盟 山口 洋博子 氏	152人
9/11~10/30	ヨガ連続講座 8回 (昼間) 講 師：NPO法人日本YOGA連盟 山口 洋博子 氏	127人
9/6~10/11	プレママアクア教室 (妊婦を対象としたアクアエクササイズ) 6回 講 師：インストラクター 伊藤由実子 氏・助産師 松本奈美江 氏 他	20人

10/ 3～11/ 7	プレママヨガ教室（妊婦を対象としたヨガ教室） 6回 講 師:助産師兼インストラクター 片山由美 氏 他	15人
9 / 1 8	プレママ料理教室（ボランティアグループ「萌」と共催） （妊婦を対象とした栄養講話と調理実習） 講 師：栄養アドバイザー「萌」 吉山美和 氏 飯垣千佳子 氏	7人
1 0 / 3 0	◎子供アレルギー教室（ボランティアグループ「萌」と共催） 「食物アレルギーのある子どもを持つ保護者を対象とした講習会」 講 師：栄養アドバイザー「萌」 武田美千子 氏 林 清子 氏	13人

*プール教室

20年度より、市民講座の位置づけとして体力向上、健康増進を目的とした教室と、介助者なしでグループ練習形態指導を行う事により社会性などの向上、社会的な自立を目指した障害児水泳教室を開催。

教 室	開 催 日 程	開催日数	参加者延べ人数
アクアビクス教室	5月23日～ 7月 4日	7日	173人
	9月12日～10月24日	7日	215人
	11月 7日～12月19日	7日	193人
	2月27日～ 4月10日	7日	159人
小学校低学年の水泳教室（障害児の部）	5月15日～ 6月26日	7日	62人
	9月11日～10月23日	7日	61人
	11月 6日～12月18日	7日	75人
小学校高学年の水泳教室（障害児の部）	5月17日～ 6月28日	7日	80人
	9月13日～10月25日	7日	80人
	11月 8日～12月20日	7日	92人
水泳教室（障害者の部）	5月15日～ 6月26日	7日	106人
	9月11日～10月23日	7日	113人
	11月 6日～12月18日	7日	120人
水泳教室（一般初心者の部）	9月13日～10月25日	7日	26人
水中トレーニング	2月27日～ 4月10日	7日	155人
スポーツチャレンジ	7月31日・8月1日・2日	3日	44人
	3月26日・27日・28日	3日	39人
リフレッシュ講座	4月 3日～ 4月25日	9日（11回）	207人
	7月18日～ 8月29日	6日（9回）	242人
スイミングセミナー		年10回	173人

*ボランティアセンターとの共催事業（ボランティア活動推進事業で記載）

*ラポールいこいのミニライブ開催状況

グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブを開催し、市民交流の場と位置づける。また、総合福祉会館の啓発を行い、新たな利用者の発掘を行う。

（開催状況）

月	回数	内 容
4	3	ハーモニカ演奏・マンドリンアンサンブル・ハーモニカ合奏
5	4	弾き語り（j p o pなど）・キーボード弾き語り・フォークソングの弾き語り他
6	3	アコースティックライブ・ギターとハーモニカ演奏・アルビオーネ演奏
7	4	フォークソング・ギター演奏・大人のための絵本ライブ・ハーモニカ演奏
8	4	キーボード弾き語り・口笛演奏・ゴスペル・アコーディオン演奏&マジック

9	3	弾き語り（j p o p など）・ハーモニカ演奏・ハーモニカ合奏
10	3	キーボード弾き語り・ギターとハーモニカ演奏・フォークソング弾き語り
11	3	アコーディオン演奏・ハーモニカとキーボード演奏・キーボード弾き語り
12	3	リコーダー演奏・オカリナ演奏・フォークソング弾き語り
1	3	ハーモニカ演奏・ギター弾き語り・歌とフルート演奏
2	3	キーボード弾き語り・口笛演奏・フォークソング弾き語り
3	3	フラダンス・ギターと歌とハーモニカ演奏・ハーモニカ演奏

会場は1階正面玄関エレベーター前で開催。

⑦運営委員会開催状況

月 日	内 容	出席者数
11/25	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度総合福祉会館上半期の運営状況について 火災発生の報告について その他 	12人
3/14	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度総合福祉会館下半期の運営状況について 平成26年度事業計画について その他 	12人

⑧研修事業の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

月 日	内 容	参加者数
4/14	温水プールスタッフ研修会（監視の心得等）	18人
5/27	サービスマナー・人権研修会	26人
9/11	火災予防講習会	42人
12/12	手話研修会	9人
1/19・20	温水プールスタッフ研修会（普通救命講習）	15人(延べ)
1/22	普通救命（AED）講習会	17人
1/27・2/16	温水プールスタッフ研修会（監視の共通理解等）	17人(延べ)
2/13	温水プールスタッフ研修会（受付業務の共通理解等）	9人
3/9	ラポール受付業務研修（施設予約システム等）	10人